

# La Apro

N-ro 1-521  
 januaro 2020  
 発行：2019年12月



La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA

池田エスperanto会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

★北摂ザメンホフ祭(池田・吹田・豊中)2019年12月15日(日)13時半~17時  
 池田市中央公民館A。500円。18人(池田5人、豊中5人、吹田6人、近江森均、茨木)。  
 「佐野伸子さん追悼写真集」、活動報告、松川真木子さんが外国エスperanto  
 ストと撮った写真(赤ちゃん時代~現在)などをPCとプロジェクタで壁に投影。  
 松田洋子さんがLとRの発音練習。えと(猪)の歌は“La Movado”2019  
 年11月号掲載の“Kun Urso en Arbaro”から urso を apro に変更した替え歌。  
 池田エスperanto会の狂言「二人大名(Du Sinjoroj)」(狂言記巻4の10)  
 左京：島谷剛、右京：岩田好兼、下京の者：近江の森均さん。  
 終了後、飲み会組と喫茶組にわかれて自由 bankedo。



後列：矢野博幸,久保田百合,田中一喜,矢吹あさる,佐藤守男,  
 福田誠,的場勝英,松田洋子,大畑賀代子,的場祐子,山野敏夫,森均  
 前列：松川真木子,佐野寛,島谷剛,岩田好兼,近藤八マ,山崎隆三



**松川真木子さん報告 『今までと、今年一年の私とエスペラントの関わり』**  
赤ちゃん時代から現在まで、外国エスペランチストと映っている写真



**松田洋子さんの発音練習 :**

RとLの聞き取りは、皆さんできるようですが、発音ができない？

## ★12月7日(土) 冬の季語で俳句の会

○ 岩田好兼(俳号: Joši):

Mi sunumas min. Sufiĉas nur ĵurnalo, kaf' kaj lupeo.  
Haltas siluet' kadrumita en palto. Suno sinkanta.  
Tiktako sola en librobrokejoj. Glacio pendas.

○ 島谷 剛(俳号: Takesi):

Lazuras beroj de ofiopogono\* — Krevas betono

※bero de ofiopogono 龍の玉(ジャノヒゲ=リュウノヒゲの種子): 冬の季語

Blankas tereno sub serena ĉielo — Vintra mateno

Nikttereŭtido\* envenas etan korton — Mankas timido

※niktereŭto タヌキ: 冬の季語

○ 的場祐子(俳号: Yuko):

Gefratoj miaj kolektiĝas en domo. Venis novjaro

Jen Decembro mia naskiĝmonato gepatroj ĝojas.

### 2月8日(土) 池田エスペラント会総会

近況、ご意見など<simatani1951@gmail.com>へお送りください。

次の輪読予定は、ブルガリアの *Julian MODEST* の原作推理小説

“Averto pri murdo” 900 円、“Murdo en la parko” 1000 円



### 狂言「二人大名 (Du Sinjoroj)」(狂言記巻4の10)

左京: 島谷剛、右京: 岩田好兼、下京の者: 森均 (近江)

台本 PDF への短縮リンク: <http://num.to/1700-0651-7930>



num.to/170006517930



会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Maigret eraras" de Simenon(あと 25 頁?)	出席者
2019年公民館3階C 11月16日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。gasto: 森均。 狂言「二人大名」練習。	☀️ 4
12月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛。gasto: 森均。狂言練習。	☁️ 3
2階A 13時半~ 12月15日(日)	池田5人: 田中一喜、久保田百合、岩田好兼、的場祐子、島谷剛。 豊中5人: 佐野寛、的場勝英、近藤八マ、福田誠、山野敏夫。 吹田6人: 佐藤守男、大畑賀代子、松田洋子、矢吹あさる、矢野博幸、松川真木子。近江1人: 森均。茨木1人: 山崎隆三。	☀️ 18
12月21日(土)10時	"Maigret eraras"(シムノン『メグレ間違っ』)の輪読は2019年最終。第7章98ページ19行目 Si atendis la demandon から。次は2020年1月11日です。	🤖 ?

**例会予定** 2019年12月7日、15日(ザメンホフ祭)、21日(年末最終)。  
2020年1月11日(新年初回)、18日、25日、  
2月(1ワンワールド)、8日、15日、22日、3月7日B、14日、21日、(28)  
前期使用申請(案): 3階会議室C、土曜9時~12時。  
4月4日、11日、18日、5月2日、16日、23日、6月6日、(13KKB)、20日、27日、  
7月11日、18日、25日、8月8日、15日、22日、9月5日、12日、19日、26日

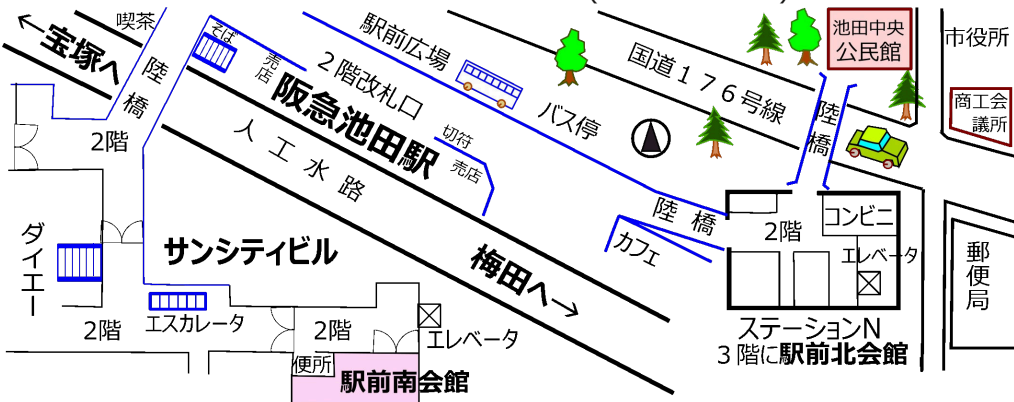


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。

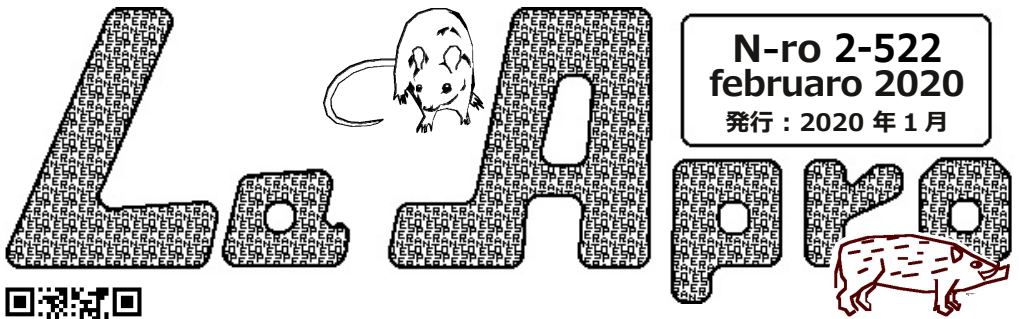


**行事予定** 2020年2月1日2日(土日) ワン・ワールド・フェスティバル(扇町公園他)  
3月6日(金)~8日(日) 池田中央公民館ふれあい作品展

5月30日~31日(土日) 第94回九州エスペラント大会(グランディア太宰府)  
6月13日14日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
8月1日~8日(土~土) 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)  
9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本エスペラント大会(名古屋、ウインクあいち)  
2021年7月17日~24日(土~土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)







N-ro 2-522  
februaro 2020  
発行：2020年1月



La APRO, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA

池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## 2月8日(土) 池田エスペラント会総会

近況、ご意見など<simatani1951@gmail.com>へお送りください。

### ★第27回ワン・ワールド・フェスティバル(大阪)に KLEG 参加

2020年2月1日(土)~2日(日)10時~17時 北区民センター、カンテレ扇町スクエア、扇町公園。関西エスペラント連盟は展示の他、2月1日(土)12時~13時に1階1・2会議室で「国際語エスペラントは新しい扉を開く」※梅田駅からは、JR環状線に乗り天満駅下車、徒歩3分。

次の輪読予定は、ブルガリアの *Julian MODEST* の原作推理小説  
“Averto pri murdo” 1000円→“Murdo en la parko” 1000円

## “Averto pri murdo”

*Julian Modest*(ブルガリア)著、原作推理小説 2018年 *Espero* 刊、97p.、千円。

Damjan Donev malaperis. Lia nevo Bojan Mitov petis detektivon Janko Sinapov. La ĉambro traserĉita. parko. juna posedanto de kafejo. Grafo Kordov kaj junulo Danail (Beko). Iama kolego Georgi Nikoy, iama amatino Natalia Ivanova, pentristo Vaklin Sjarov, kuzino Johana en Ŝtona Rivero.

cejan/o:{O}【植】ヤグルマギク(矢車菊)。Sozopol: ブルガリア南東部、黒海岸の古代都市。dorikaj kolonoj ドーリア式柱。muzoj: Eŭterpo, Kaliopo, Melpomeno kaj Talio 文芸の女神ムーサたち: エウテルペー、カリオペー、メルポメネーとタレイア。

p.55 Danail, profeto: 第2聖典のダニエル書 13 "Susana": 入浴中の Susana を二人の長老が罫にかけ姦通で死刑としたが、預言者 Daniel が尋問し嘘を暴く。裸体画の題材。krupiero 賭博場の元締。simpatia 好感を持てる。teoremo 定理。sanatorio サナトリウム。p.62: ateliero アトリエ。pentro-tresto?(画架は stablo)。

p.69: nomtaga festo (キリスト教の守護聖人の)聖名祝日。retikulo 網袋、ハンドバッグ。timigilo かかし。ateliero アトリエ。tresto?(画架は stablo)。

p.83: bubalo(水牛)→正しくは eŭropa bizono (*Bison bonasus*。バイソン)か。moreno 堆石、モレーン。sutano 黒い長衣。retrati 預金を引き出す。traŭmato 外傷。

# 活動報告

2020年2月8日総会

<まとめ>

例会の平均出席人数は 3.74 人(2018 年は 3.92 人)。すべて公民館で例会。ほとんど 3 階会議室 C で、料金は減免措置を受けて 1 回 200 円であった。

会員は 11 名 (正会員 10, 準会員 1): 岩田好兼、加藤木みずえ、川越ユリ、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、田代真弓、田中一喜、西尾務、松田洋子(準会員)、的場祐子(敬称略。以下同様)。

エスペラント狂言は関西大会で「花子 Damo Hanago」ザメンホフ祭で「二人大名(Du Sinjoroj)」を上演した。

公民館ふれあい作品展(3 月)と池田文化デー(11 月)にパネルを展示した。

機関誌 La Apro は島谷編集で毎月 A5 判 4 ページで発行した。KLEG にゆうメール発送を委託している。12 月から値上: 500g まで 116 円→118 円。

俳句の会は、2 月 16 日(土)、5 月 25 日(土)、8 月 24 日(土)、12 月 7 日(土) 春夏秋冬の季語

で俳句を読んだほかに、狂言「花子」二人大名の練習をした。

KLEG 委員会出席 (曾根 KLEG 事務所で土曜日午後 3 時半から 5 時半、島谷。

1 月 19 日、3 月 16 日、4 月 20 日、5 月 19 日(日)[豊中公民館 13 時半。委員会のち総会]、7 月 20 日、9 月 21 日、11 月 16 日)。

関西エスペラント連盟理事会出席(島谷剛。土曜 15 時): 1 月 5 日、2 月 2 日、3 月 2 日、4 月 6 日、5 月 4 日、5 月 25 日、7 月 6 日、8 月 3 日、9 月 7 日、10 月 5 日、11 月 2 日、12 月 7 日。

<例会> 月 2 回~3 回土曜 10 時~12 時、輪読・会話。

公民館(3 階会議室 C。400 円を減額で 200 円。B は 2 階会議室 B。600 円を減額で 300 円)

1 月 12 日、19 日、26 日、2 月 9 日(総会)、16 日(春の句会)、3 月 16 日 B、23 日、30 日、4 月 6 日、13 日、20 日、5 月 11 日、18 日、25 日(夏の句会)、6 月 8 日、15 日、22 日、7 月 6 日 B、13 日、27 日、8 月 3 日、10 日、24 日(秋の句会)、9 月 7 日、21 日、28 日 B、10 月 5 日 B、19 日、26 日、11 月 2 日、9 日、16 日、12 月 7 日(冬の句会)、15 日(日。ザメンホフ祭)、21 日。

2019 年は池田駅前南会館・池田駅前北会館は利用しなかった。

輪読: 2018 年 2 月から Georges Simenon の "La flava hundo (黄色い犬)"(), 2019 年 2 月から "Maigret eraras"。

回数 34 回。のべ 127 人参加。平均 3.74 人

月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均
1	3	3.3	4	3	4.0	7	3	4.0	10	3	4.0
2	2	4.0	5	3	3.3	8	3	3.0	11	3	3.7
3	3	4.3	6	3	3.7	9	3	4.0	12	2	3.5

個人別出席回数(敬称略-他の部分も。)

氏名	回数	氏名	回数	氏名	回数
島谷剛	34	的場祐子	27	森均	6
岩田好兼	33	高鶴弘夫	26	池田さん	1

この他に、準備作業や行事にのみ参加した会員もある。

<主な活動>

2019 年 1 月 19 日(土) KLEG 委員会 (曾根 KLEG 事務所 17 時~島谷剛出席)。

2 月 9 日(土) 池田エスペラント会総会。役員など留任。"Flava hundo"輪読完了。"Maigret

eraras"(Georges Simenon 著)輪読開始。

2月16日(土) 春の季語で俳句。

1月22日(火) 13時半公民館ふれあい作品展説明会。

3月7日(木) 9時半～15時公民館ふれあい作品展(2階ギャラリー)搬入。

3月8日(金)～10日(日) 10時～17時公民館ふれあい作品展(2階ギャラリー)。

3月16日(土) KLEG 委員会。

4月20日(土) KLEG 委員会。

4月25日～28日(木金土日) 第9回アジアエスペラント大会(ベトナム・ダナン)

5月18日(土)～19日(日) 九州エスペラント大会(宮崎市)。

5月19日(日) 13時半 KLEG 委員会のち総会(豊中公民館。島谷剛、田中一喜)。

5月25日26日(土日) 関東エスペラント大会(東京都江東区亀戸文化センター)。

5月25日(土) 夏の季語で俳句: 岩田好兼。

6月1日2日(土日) 第67回関西エスペラント大会(宇治市生涯学習センター)。

参加者179名、池田8名: 51 島谷剛、53 岩田好兼、57 的場祐子、59 田中一喜、60 久保田百合、93 高鶴弘夫。以下不在参加: 169 西尾務、170 加藤木みずえ。

6月2日(日) 午後の gaja tempo(司会久保田百合)で池田狂言「花子 Damo Hanago」殿: 島谷剛、上臈: 岩田好兼、冠者: 森均。閉会式: 司会久保田百合。

6月15日(土) 13時 La Movado 発送作業担当。

7月20日(土) KLEG 委員会。

7月20日～27日(土～土) 第104回世界エスペラント大会(フィンランド・ラハティ)

7月27日(土) 10時 IKEDA 文化 DAY 市民総合文化展 出展者説明会(池田駅前南会館)

9月7日(土) 10時 IKEDA 文化 DAY 市民総合文化展 第2回出展者説明会(池田駅前南会館)

9月15日16日(日・月祝) 林間学校 FL 京都エスペラント会館(作文教室塚本猛、発音教室沖恵明、LINE 田中一喜、相川節子、久保田百合。世話役島谷剛)。17人。

9月21日(土) KLEG 委員会。

10月12日(土)～14日(月) 第106回日本エスペラント大会(さいたま市。台風で13日午後開始)。

10月26日～27日(土日) 第20回中国・四国エスペラント大会(琴平町文化会館)。

10月26日～27日(土日) 第68回東海エスペラント大会(名古屋市)。

11月2日(土)・3日(日・祝)・4日(月・振休) 第30回記念 IKEDA 文化 DAY(商工会議所2階にB2パネル6枚)

11月16日(土) KLEG 委員会。

12月15日(日) 北摂ザメンホフ祭(13時半～17時、池田中央公民館2階会議室A)。

狂言「二人大名(Du Sinjoroj)」(『狂言記』巻4の10): 左京: 島谷剛、右京: 岩田好兼、下京の者: 近江の森均さん。

参加合計18人。池田5人: 田中一喜、久保田百合、岩田好兼、的場祐子、島谷剛。

豊中5人: 佐野寛、的場勝英、近藤ハマ、福田誠、山野敏夫。

吹田6人: 佐藤守男、大畑賀代子、松田洋子、矢吹あさゑ、矢野博幸、松川真木子。

近江1人: 森均。茨木1人: 山崎隆三。

○12月18日(水)三澤一弘さん逝去。19日深夜に豊中エスペラント会の佐野寛さんからメール「翌朝(19日)ミニ告別式をしました。」



会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Maigret eraras" de Simenon(あと 19 頁)	出席者
2019年公民館3階C 12月21日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	☀️ 4
2020年 1月11日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀️ 3
1月18日(土)10時	"Maigret eraras"(シムノン『メグレ間違う』)の輪読は第7章106ページ下から5行目—Al Quai!から。次の次は1月25日。	🏆 ?

**例会予定** 2020年1月11日、18日、25日、  
2月(1ワンワールド)、8日(総会)、15日、22日、

3月7日(春の季語で俳句)B、14日、21日、(28)

前期使用申請中: 3階会議室C、土曜9時~12時。

4月4日、11日、18日、5月2日、16日、23日、6月6日、(13KK)、20日、27日、  
7月11日、18日、25日、8月8日、15日、22日、9月5日、12日、19日、26日



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年2月1日2日(土日) ワン・ワールド・フェスティバル(扇町公園他)  
3月6日(金)~8日(日) 池田中央公民館ふれあい作品展

5月30日~31日(土日) 第94回九州エスペラント大会(グランディア太宰府)

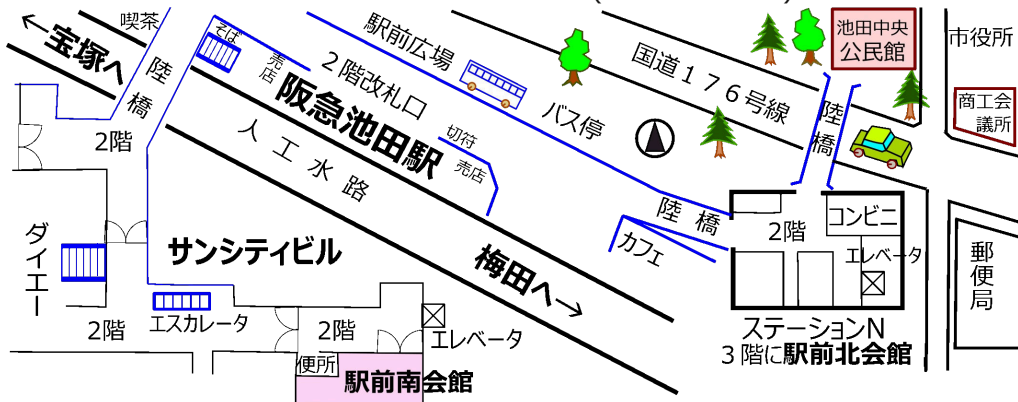
6月13日14日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)

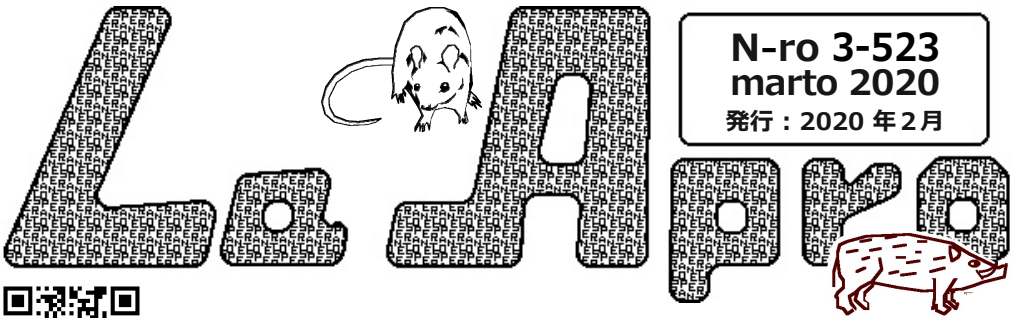
8月1日~8日(土~土) 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)

9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本エスペラント大会(名古屋、ウインクあいち)

2021年7月17日~24日(土~土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)

2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)





**N-ro 3-523**  
**marto 2020**  
 発行：2020年2月



La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA

池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 2月8日(土) 池田エスペラント会総会

役員は留任。予算決算、今後の活動などについて話し合いました。

現在の役員は、島谷剛 (会長、KLEG 委員)、久保田百合 (会計)、田中一喜、岩田好兼。

会員は 11 名 (正会員 10, 準会員 1): 岩田好兼、加藤木みずえ、川越ユリ、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、田代真弓、田中一喜、西尾 務、松田洋子(準会員)、的場祐子。

関西大会の狂言は「未摘花」。公民館ふれあい作品展(3月)と池田文化デー(11月)で展示。俳句の会は春夏秋冬の季語で続ける。資産 881,458 円。会計は赤字を許容。

**次の輪読予定は、ブルガリアの Julian Modest の原作推理小説**  
**“Averto pri murdo” 1000 円。続けて“Murdo en la parko” 1000 円**

池田エスペラント会 会計報告 2020.2.8 会計担当 久保田  
 2019 年決算

### 収入

会費	36000
4 千円×9 人	
ザメンホフ祭	2260
計	38260

会費	36000
4 千円×9 人	
ザメンホフ祭	1000
計	37000

### 支出

KLEG 会費	32000
JEI 団体会費	1000
会場費	7200
資料代	0
講習会	0
通信費 (郵送費など)	10604
事務費	0
計	50804

KLEG 会費	32000
JEI 団体会費	1000
会場費	8000
資料代	0
講習会	0
通信費 (郵送費など)	15000
事務費	1000
計	57000

## 漢武帝、蘇武遣胡塞語

(かんのぶてい、そぶをございに つかはせること)

今は昔、漢の武帝の代に、蘇武(そぶ)と云ふ人有りけり。

天皇、□□依りて、此の人を胡塞(ござい)と云ふ所に遣したりけるに、久しく返り得ずして、年来(としごろ)、其の所に有りけるが程(ほど)に、亦、衛律(えいりつ)と云ふ人、其の所に行たりけるに、衛律、行き着くま(ま)に、其の所の人に先ず「蘇武は有りや否や」と問ひければ、其の所の人、蘇武は有りけるを隠さむが為に、謀(はかりごと)を成して「蘇武、早う失せて年久く成ぬ」と答へけるを、衛律「隠して虚言(そらごと)を云ふぞ」と心得て、

「蘇武、死なずして未だ有る成り。此の秋、雁の足に文(ふみ)を結び付けて、蘇武が文を天皇に奉りければ、雁、王城に飛び来りて、其の書を天皇に奉りたりき。天皇、其の書を御覧じて、蘇武于今(いま)に有りと云ふ事を思し食(め)したり。此れ、謀也」

と云ひければ、其の所の人、謀にて有りければ、「隠して益無し」と思ひて、

「実(まこと)には未だ死なずして有り」と云ひて、蘇武を衛律に會せたりけり。雁の足に文結び付けたる事は衛律が謀の言なれども、此れに依りて蘇武出来(いできた)れば、世の人、此れを聞きて、衛律をぞ讃め感じける。然れば、虚言なれども事に随ひて云ふべき也けり。衛律が謀の言は賢かりけりとなむ語り伝へたることや。

※蘇武(前 140～前 60): 前漢の武帝の使節で、匈奴に抑留され、19 年後帰国した。

※漢の武帝(前 156～前 87; 在位前 141～前 87): 前漢 7 代、劉徹、領土を拡大。

※漢: 中国の王朝。前漢(前 202～8)、首都長安。後漢(25～220)、首都洛陽。

## Udi de Han-dinastio sendis Su Wu al huna teritorio

tradukis: SIMATANI Takesi

Antaŭ longa tempo en Ĉinio dum la regado de Udi de Han-dinastio vivis viro nomata Su Wu.

La imperiestro Udi sendis lin al norda huna teritorio. Longe li tamen restis tie kaj ne revenis al Ĉinio. Wei Lu, alia sendito tuj ĉe lia alveno demandis de hunoj, kie estas Su Wu. La hunoj, kiuj kaptis la senditon, diris. "Li mortis antaŭ longa tempo." Wei Lu tamen trovis tion mensogo kaj diris.

"Ni scias, ke ankoraŭ vivas Su Wu. En la lasta aŭtuno sur piedo de sovaĝa ansero li mem sendis leteron al Lia Imperiestra Moŝto! La ansero venis al Ĉinio kaj Lia Moŝto bonorde ricevis la leteron de Su Wu. Lia Moŝto legis la leteron kaj jam scias, ke ankoraŭ li vivas! Vi ne diras veron."

La hunoj pensis, ke ĉinoj malkovris la mensogon kaj konfesis al li.

"Verdire vivas Su Wu." Oni lasis Su Wu paroli kun Wei Li. Fakte Su Wu neniam sendis leteron sur piedo de birdo. Per la intrigo de Wei Lu reaperis la kaptita sendito. Oni laŭdis ruzon de Wei Lu. Mensogo estu akceptita en tia kazo. Wei Lu superruzis la hunojn. Jen tiel oni rakontis al ni.

※Su Wu(140ak～60ak): Sendito de Ĉinio al huna norda teritorio. Hunoj kaptis lin kaj nur post 19 jaroj li povis reiri al Ĉinio.

※Udi: la sepa imperiestro de Han-dinastio (156 a.K.～87 a.K., 141a.K.～ sur trono).

※Han-dinastio: Ĉina dinastio, kiun oni dividas en la Okcidentan(202 a.K.～8, kun la ĉefurbo Ĉang'an) kaj la Orientan (25-220, ĉefurbo Ljaojang).



## 春の季語 *sezonaj vortoj de printempo*

遠足 ekskurso, 黄砂 Flava polvo, 朧月 pala luno, かざぐるま ventorado, 霞 nebulo, 東風(こち) orienta vento, 挿し木 stikaĵo, 残雪 postrestanta neĝo, シャボン玉 sapveziko, 春分 printempa ekvinokso, 清明 Festo de Klaro kaj Brilo, 卒業 diplomigo(大学), 凧 kajto, 種蒔き semi (rizon), 茶摘み pluki tefoliojn, 接ぎ木 greftaĵo, 苗代 riza vartejo, 雪崩 lavango, 逃げ水・蜃気楼 miraĝo, 入学 eniri lernejon, 野焼き/山焼き fajra senveprigo, 畑打ち plugi/fosi agron, 八十八夜 la 88a tago(de printempa ekvinokso), 花見 spekti florojn, 春一番 printempa ŝtormo, 春風 zefiro, 彼岸 ekvinoksa semajno/budhoservo, ひな祭り pupa festo, 風船 balono, ぶらんこ trapezo, 焼野 bruligita kampo, 流水 flosglacio,

**動物:** アサリ tapo, うぐいす ugviso, ウニ ekino, オタマジャクシ ranido, 蛙 rano, 汐まねき violonkrabo, 潮干狩り konkulofosado, 蜆汁 supo de korbikoloj, 蝶 papilio, 燕 hirundo, 蜂 abelo, ハマグリ meretriko, 雲雀 alaŭdo, 頬白 emberizo, ヤドカリ paguro,

**植物:** アザミ kardo; cirsio, アスパラガス asparago, アネモネ anemono, 一輪草 anemono, いぬのふぐり veroniko, ウマゴヤシ medikago, 梅 umefloro, 黄梅 flava(ora) jasmeno, オキザリス oksalido, をだまき akvilegio, 海棠 kaidomaluso, カラシナ sinapo, 池田エスペラント会 *La Apro* <http://esperanto.sannasubi.com>

黄水仙 jonkvilo, 木の芽, 若緑, burĝono; ĝermo; plantido, キンセンカ kalendulo, キンポウゲ renunkolo, クコ licio, ゲンゲ astragalo, コブシ kobus-magnolio, 桜 ĉerizfloro; sakuro, 桜草 primolo, 桜餅 pasto kun sakura folio, サンシュユ kornuso, シクラメン ciklameno, シャクナゲ rododendro, 春蘭 japana cimbidio, ショウロ rizopogono, 沈丁花 dafno, スイバ okzalo, スギナ ekvizeto, スミレ violo, センマイ osmundo; reĝofiliko, セリ enanto, タンポポ leontodo, チューリップ tulipo, つくし ekvizeta sporotigo(spiko), ツツジ azaleo; rododendro, 撫子 dianto, 菜の花 kolza floro, ニンニク; アサツキ ajlo, 野蒜 longstamena ajlo, 海苔 norio, 椿 kamelio, ハハコグサ gnafalio, 浜防風 pastinako, 春の筍 bambuido, パンジー trikoloreto, ヒアシンス hiacinto, ヒジキ hizikio, 一人静 printempa kloranto, 雛菊 lekanteto, ヒメシャクナゲ andromedo, フキノトウ petazita ŝoso, 藤 visterio, 二人静 maja kloranto, ホウレンソウ spinaco, マンサク hamamelido, 三葉 kriptotenio, ミモザ mimozo, ミウガ miogo, モクレン magnolio, モツク nemacisto, 桃の花 persika floro, 柳 saliko, 山吹 kerio, 雪割草 epitako, ヨモギ artemizio, ライラック lilako, レタス laktuko, レンギョウ forsitio, ワカメ undario, ワサビ vasabio, 勿忘草 (わすれなぐさ) miozoto; neforgesumino, ワラビ preridio, わらびもち pasto de preridio

3月7日(土)春の季語で俳句の会

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Maigret eraras" de Simenon(あと 19 頁)	出席者
2020年公民館3階C 1月18日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	☀ 4
1月25日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	☀ 4
2月8日(土)10時	総会 + 輪読。岩田好兼、久保田百合、島谷剛、田中一喜、的場祐子。 "Maigret eraras"(シムノン『メグレ間違う』)の輪読次回2月15日は第8章116ページ1行目 — Tio estas la tuta historio から。	☀ 5

**例会予定** 2020年2月(1ワールド)、8日(総会)、15日、22日、  
3月7日(春の季語で俳句) B、14日、21日、(28)  
4月4日、11日、18日、 5月2日B、16日、23日、  
6月6日B、(13KEK)、20日、27日、7月11日、18日、25日、  
8月8日、15日、22日、 9月5日、12日、19日、26日

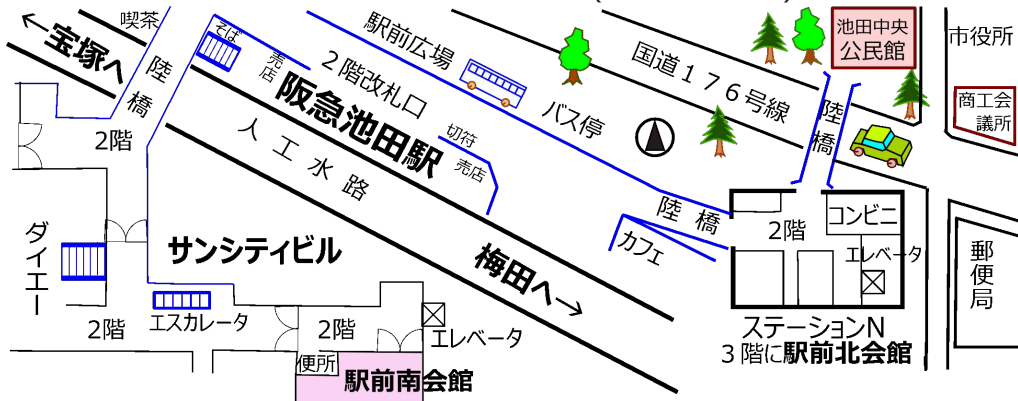


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。\*( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年 3月6日(金)~8日(日) 池田中央公民館ふれあい作品展  
3月7日(土)春の季語で俳句の会

5月30日~31日(土日) 第94回九州エスペラント大会(グランティア太宰府)  
6月13日14日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
8月1日~8日(土~土) 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)  
9月20日(日) ~22日(火・祝) 第107回日本エスペラント大会(名古屋、ウインクあいち)  
2021年7月17日~24日(土~土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)



# La Apro

N-ro 4-524  
aprilo 2020  
発行：2020年3月



池田エスperanto会 La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスperanto会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 2020年3月7日(土)の句会(池田市立中央公民館 10時～)

- 岩田好兼(俳号: Joŝi ): —  
Kolza kulmino — Kaj dekstren kaj maldekstren okuloj flugas.  
Sub arboj kuŝas tapiŝo ĉerizflora. Paŝo haltita.  
Ekster fenestro jen ondas kolzaj floroj. Tuj fermu libron!
- 島谷 剛(俳号: Takesi): —  
Venis viruso anstataŭ gaja tosto — Printempa frosto (春寒)  
Labori hejme ĉe floroj en ĝardeno — Foras Edeno (無季)  
Knabinoj kuras kun rido gaje ŝrika — Festo persika (桃の節句)  
Dolĉe aromas al rajdanto bicikla — Dafno gracia (沈丁花)
- 的場祐子(俳号: Yuko): —  
Gastoj alvenis. Unu fragan skatolon ili kunportis.  
Oni aĉetas ĉe manĝaĵa vendejo — Venas printempo.

## Ĉu vi konas stereogramon?(183) SIMATANI Takesi La Templo Mondo Yakuzin 門戸厄神





## **Observejo** (禁酒関所)

En drinkado iuj du samurajoj komencis kvereli kaj fine unu mortigis la alian per sia glavo. Post malebriĝo li rimarkis, ke li mortigis sian amikon kaj mortigis sin.

Granda Sinjoro, kiu samtempe perdis du fidelajn subulojn pro drinkado, ordonis al ĉiuj siaj subuloj, ke ili neniam drinku, kaj instalas observejon ĉe la enirejo de kvartalo, kie loĝis nur samurajoj kaj iliaj familianoj. Drinkemaj samurajoj kaj vendejoj, kiuj volas vendi alkoholaĵon "sakeo", falis en tre malfelican situacion.

Iutage la plej drinkema samurajo nomata Kimura vizitis sian favoran sakeo-vendejon.

Vendejo-estro: Bonvenon, s-ro Kimura.

Kimura: Ni ne vidis nin tre longe. Kiel via komerco statas?

Vendejo-estro: Post la ordono de Granda Sinjoro mia komerco tute malprosperas.

Kimura: Estas laŭ mia diveno. Ankaŭ mi staras en malfeliĉo. Do, donu al mi grandan glason da sakeo.

Vendejo-estro: Pardonu min. Mi ne povas malobei la ordonon.

Kimura: Nur unu glason, mi petas. Mi ne ebriĝos pro unu glaso da sakeo. Aldone mi estas diskreta. Neniu povos scii ion.

Vendejo-estro: Mi konsentas, sed nur unu glason.

Kimura: Dankon pro via zorgo. (Per unu gluto li eldrinkis, kaj diris) Mia drinkemo vekiĝis per unu glaso. Alportu grandan botelon da sakeo al mia hejmo, mi petas.

Vendejo-estro: Se mi faros tion, mi estos mortigita. Mi tute ne povos alporti sakeo-n.

Kimura: Se vi alportos sakeo-n, mi pagos dekoblan monon ol kutime.

Vendejo-estro venigis siajn subulojn kaj demandis, ĉu vi havas bonan ideon?

Subulo A: Mi havas bonan ideon. Mi pretigos grandan keston, kaj enmetos grandan botelon da sakeo en la keston. Sur etikedo de la kesto mi skribos "Kuko".

Vendejo-estro akceptis la proponon de sia subulo A.

La subulo A alvenis al la observejo: Mi alportos al s-ro Kimura kukon. Bonvolu permesi al mi trapasi la observejon, mi petas.

Observanto: Kion? Al s-ro Kimura? Kukon? Estas suspektinda, ke la plej drinkema s-ro Kimura mendis kukon. Mi kontrolu la alportaĵon!

Subulo A: S-ro Kimura mendis la alportaĵon por donaco.

Observanto: Donaco? Do, mi konvinkis. Mi permesu al vi trapasi.

Subulo A: Mi elkore dankas vin sinjoro. Nu, mi — (li eldiris krimon, kiam oni levas pezaĵon).

Observanto: Kion vi kriis? Estas suspektinda! Mi nepre devas kontroli por mia tasko. (Li malfermis la

keston kaj trovis grandan botelon).  
Kio estas la enhavo de la botelo?

Subulo A: Tio estas likva kuko.

Observanto: Likva kuko? Estas tre suspektinda! Mi devas provi trinki ĝin! (Li malŝtopis kaj iom trinkis). Tio estas sakeo! Kia malhonestulo! Sidiĝu ĉi tie! Mi mortigu vin!

La subnulo A forkuris lasinte alportajon. Reveninte li raportis al la vendejo-estro, ke li malsukcesis kaj la sakeo estis konfiskita.

Sekve la subulo B propones sian ideon.

Subulo B: Unue mi pretigos grandan vazon por oleo. Anstataŭ oleo mi verŝos sakeo-n en la vazon kaj alportos al s-ro Kimura. Mi kovris per oleo tutan surfacon de la vazo.

La subulo B alvenis al la observejo: Mi alportos al s-ro Kimura oleon. Bonvolu permesi al mi trapasi la observejon, mi petas.

Observanto: (per iom ebria voĉo-tono)Kion? Al s-ro Kimura? Oleon? Estas suspektinde, ke la plej dorinkema s-ro Kimura mendis oleon. Mi kontrolu la alportajon!

Subulo B: S-ro Kimura mendis la alportajon por lumigi litlampon.

Observanto: Por limigi litlampon? Estas suspektinde! Mi nepre devas kontroli por mia tasko. (Li malŝtopis la vazon kaj flaris odoron de enhavaĵo). Estas tre suspektinde! Mi devas provi trinki ĝin! Tio estas sakeo! Kia malhonestulo! Sidiĝu ĉi tie! Mi mortigu vin!

La subnulo B forkuris lasinte alportajon. Reveninte li raportis al la

vendejo-estro, ke li malsukcesis kaj la sakeo estis konfiskita.

Pro tiuj du malsukcesoj la vendejo-estro diris: Mi jam rezignu!

Tiam la subulo C propones sian ideon: Estas tre bedaŭrinde, ke unu granda botelo kaj unu vazo da sakeo estis eltrinkitaj senpage. Venĝon al tiu drinkemulo! Bona ideo alvenis al mi. mi portu botelon plena de piso.

Vendejo-estro: Piso! Ĉesu! Vi ja certe estos mortigita!

Subulo C: Ĝis nun ni intencis mensogi observanton. Ĉi-fojon mi honeste deklaras, ke mi alportos pison. La observanto hovas neniun kialon por mortigi min.

La subulo C alvenis al la observejo: Mi alportos al s-ro Kimura pison. Bonvolu permesi al mi trapasi la observejon, mi petas.

Observanto: (per tro ebria voĉo-tono) Kion? Al s-ro Kimura? Pison? Estas suspektinda, ke la plej dorinkema s-ro Kimura mendis pison. Mi kontrolu la alportajon!

Subulo C: S-ro Kimura mendis la alportajon por nutri pinojn en ĝardeno.

Observanto: Por nutri la pinojn? Estas suspektinda! Mi nepre devas kontroli por mia tasko. (Li tuŝis surfacon de la botelo). Ĉi-foje vi varmetigis sakeo-n. Iom varmigita sakeo estas plej bongusta. (En tason li verŝis likvaĵon el la botelo). Iom ŝaumigita!

(Tiam forta molbonodoro atakis la nazon). Kia honestulo!

(fino)

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 2月15日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
2月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☔️ 3
2階B 3月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。春の季語で俳句	☀️ 3
3月14日(土)10時	新型コロナウイルス感染対策で4月7日まで公民館休館。	☔️ 0
4月11日(土)10時	"Averto pri murdo"(Julian Modest)の輪読は 第1章4ページ5行目 Bojan sidiĝis malrapide から。	👤 ?

**例会予定** 2020年3月7日B、~~14日、21日~~、(28)  
4月~~4日、11日、18日~~、(25)、【4月7日まで休館】

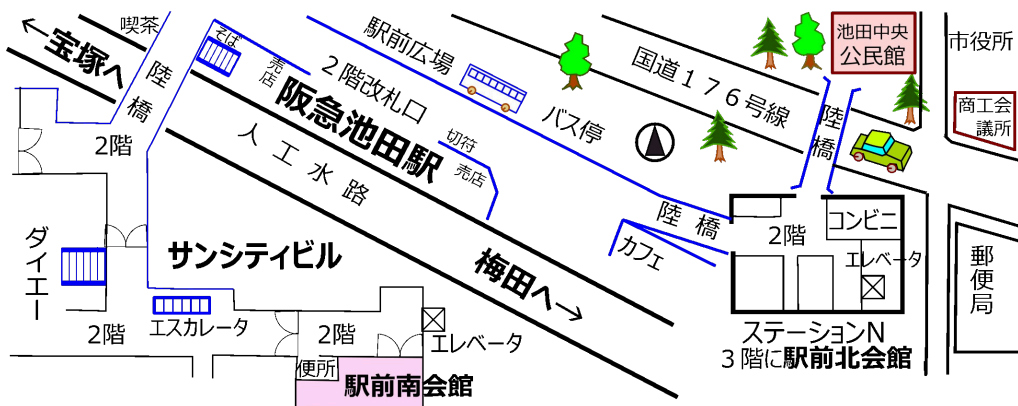
5月2日B、(9)、16日、23日、(30)  
6月6日B、(13KEK)、20日、27日、  
7月(4)、11日、18日、25日、8月(1)、8日、15日、22日、(29)、  
9月5日、12日、19日、26日



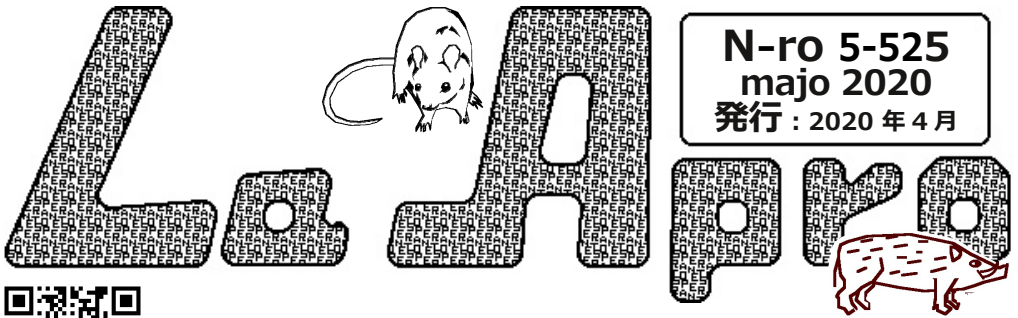
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年5月30日～31日(土日) 第94回九州大会(グランティア太宰府)  
6月13日14日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
8月1日～8日(土～土) 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)  
9月20日(日)～22日(火・祝) 第107回日本エスペラント大会(名古屋、ウインクあいち)  
11月(予定) 第21回中国・四国エスペラント大会(徳島市)  
2021年7月17日～24日(土～土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)







La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒 563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

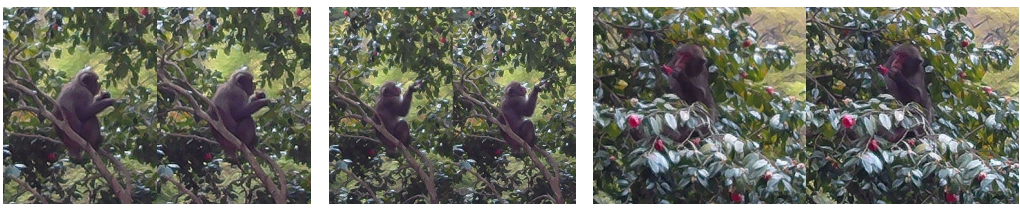
# 関西エスペラント大会は 11 月に延期

新型コロナ肺炎禍が 6 月には収束するという見込みが立たないため、今年の関西エスペラント大会は下記のように延期することになりました。

**第 68 回関西エスペラント大会**  
**期日: 11 月 14 日 15 日(土日)**  
**会場: 高槻現代劇場 (市民会館)**

詳細や変更点は後報をおまちください。次の参加費割引も 9 月末まで 4 千円に延期です。  
◎第 105 回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は 2022 年へ延期になりました。  
支払済参加費は: ①UK2022 参加費へ充当、②来年の UK2021 参加費へ振替、③UEA へ寄付等選択。

**Ĉu vi konas stereogramon?(184) SIMATANI Takesi**  
**Akvofalo Minoo senhoma 人がいない箕面の滝**



Simioj manĝis florojn sur altaj branĉoj de kamelio 樹の高い樹の枝先で猿が花を食べていました



Branĉoj de acero sur akvo  
水面にかかる楓の枝



今は昔の物語 第 19 卷 11 話  
信濃の国の王藤観音  
出家せる語

(しなののくにのわとうかんのんしゅつけせること)

今は昔、信乃国□□の郡(こおり)に、□□の湯と云ふ所有り。諸(もろもろ)の人、「薬湯也」とて、来て、浴(あむ)る所の湯也。

而る間、其の里に有る人、夢に見る様、人來(きたり)て告(つげ)て云く、「明日の午時(うまのとき)に観音來り給ひて、此の湯を浴み給ふべし。必ず、人結縁(けちえん)し來るべし」と。此の見る人、問(とい)て云く、「何様(いかよう)なる姿して來給はむと為るぞ」と。告ぐる人、答て云く、「年四十許(ばかり)なる男の、鬢(ひげ)黒きが、綾蘭笠(あやいがさ)を着て、節黒(ふしぐろ)なる大胡録(おおやなぐい)を負て、革(かわ)巻たる弓を持て、紺の水旱を着て、夏毛の行騰(むかはばき)白足袋を履(はき)て、黒造の太刀を帯て、葦毛(あしげ)の馬に乗て來る人有らば、其れを必ず観音と知り奉るべし」と告ぐるを聞くと思ふ程に、夢め覚(さめ)ぬ。

驚きて怪むで、夜明て後、普(あまね)く、其の里の人に、此の事を告げ廻(めぐら)し、語り聞かしむ。然れば、此れを聞き次て、此の湯に集る事無限(かぎりな)し。忽(たちまち)に湯を替へ、廻(めぐり)の庭を掃治し、注連(しりくへ)を引き、香花(こうげ)を備へて、多の人居並て待奉るに、日漸(ようや)く午時傾けり。未(ひつじ)に成る程に、彼の夢に見つる様なる男、來(きたり)たり。兒(かお)より始めて、夢に見えつる様に、露違(つめたが)ふ事無し。

諸の人に向て、「此(こ)は何事ぞ」と問へども、只礼拝のみして、此の事を語る人無し。一人の僧有て、手を摺(すり)て額に宛(あて)て、礼(おが)み居たる所に寄て、男、「此れは何事に寄りて、己れを見て、万(よろず)の

Antaŭ longa tempo n-ro 11 el vol. 19  
Ŭatoo fariĝis en Ŝinano  
bodisatvo Avalokiteŝvaro

tradukis: SIMATANI Takesi

Antaŭ longa tempo en la provinco XXX de Ŝinano(nuna Nagano) estis varma fonto XXX\*, al kiu oni vizitis por kuraci sian malsanon.

Iam en sonĝo de unu el loka popolo aperis homo, kiu anoncis jen tiel: "Morgaŭ tagmeze alvenos kaj sin banos Avalokiteŝvaro. Ĉiu ĉestu Lian alvenon kaj nepre ekstarigu interrilaton kun la Bodisatvo."

La sonĝanto demandis: "Kian eksterajon Li havos?" La anoncanto respondis: "Li aspektos kvardekjara viro kun nigra barbo. Li portos junkan ĉapelon kun silko, nigran grandan sagujon kaj ledkovritan arkon. Li portos pantalonon malhelbluan, gamboŝirmilojn el cerva felo, ŝtrumpetojn blankajn kaj nigran glavon. La rajdanton sur ruana ĉevalo adoru kiel Avalokiteŝvaron." Kun tiuj mesaĝoj vekigis la vilaĝano.

Kun miro pro la miraklo li rakontis pri la sonĝo al aliaj vilaĝanoj. Pri la afero oni transdiris de buŝo al buŝo kaj multaj kolektiĝis al la varma fonto. En kelka tempo oni ŝanĝis la akvon kaj purigis la ĉirkaŭaĵon. La fonton oni konsekri per sankta ŝnuro kaj garnis per floroj. Dum amaso atendadis pasis la tegmezo kaj finfine je la unua posttagmeze aperis la viro, pri kiu oni rakontis en la sonĝo. Pri la trajto aŭ ĉio alia nenio diferencis de la mesaĝoj.

"Kio okazis ĉi tie?" La viro demandis de la amaso. Neniu tamen respondis al li kaj ĉiuj nur adoris lin. Li venis proksimen al la bonzo, kiu riverencis al li kun interplektitaj manoj ĉe la

人は礼み給 (たまふ) ぞ」と、横なまりたる音を以て問ふに、僧、答て云く、「此の過ぬる夜、人の夢に、然々と見けるに依て也」と。

男、此れを聞て云く、「己 (おのれ) は一兩日が前 (さき) に、狩をして、馬より落て、左の方の脇 (かいな) を突き折たれば、其れを茄 (ゆでん) が為めに來たるを、此く礼み合給こそ、怪しと思ゆれ」など云て、とかく行 (あり) くを、万の人、後に立て、礼み喟 (の) のしる。

男、侘 (わび) て、「我が身は、然は、観音にこそ有 (あん) なれ。同く、我れ、法師と成なむ」と云て、其庭に弓箭を棄て、兵仗を投て、忽に髻 (もどり) を切て、法師と成ぬ。此 (か) く出家するを見て、万の人、貴び悲む事無限 (かぎりな) し。

而る間、自然 (おのずか) ら此の男の知たる人出来 (いできたり) て、見て云く、「彼は上野 (かむつけ) の国に有る王藤 (わとう) 大主 (おおぬし) にこそ有 (あん) めれ」と云ければ、万の人、此れを聞て、名を王藤観音とぞ付たりける。

出家して後、比叡の山の横川 (よかわ) に登て、覚朝僧都 (かくちょうそうず) と云ふ人の弟子に成て有けるが、五年許 (ばかり) 横川に有て、其の後は土佐の国にぞ行にける。其の後、其の有様を伝へ聞たる人無し。

此れ希有の事也。実の観音の御 (おわし) けるにや。此く出家する、仏の極て貴き也となむ、語り伝へたることや。

(おわり)

※□□の郡に、□□の湯: 他の資料によると「筑摩の郡に、筑摩の湯」。

kapo. “Kial oni amasiĝas ĉi tie kaj kial ĉiuj klinas la kapon al mi?” Al lia demando kun provinca akcento klarigis la bonzo: “Hieraŭ nokte oni sonĝis tiel kaj tiel.”

Aŭdinte tion la viro diris: “Mi venis ĉi tien por kuraci min, ĉar antaŭ tri tagoj en ĉasado mi falis de ĉevalo kaj rompis maldekstran brakon. Via riverenco surprizis min.” La amaso temen postsekvis kaj riverencis al li.

Nenio helpis lin: “Se tiel, mi mem devas esti la bodisatvo Avalokiteŝvaro. Jen tial mi devas forlasi sekularan mondon.” Surloke la viro forĵetis armilojn kaj glavon. Kaj li detondis hartufon kaj fariĝis bonzo. Tio doni emociion al la popolo kaj ĉiu senfine riverencis al li.

Dume aperis homo, kiu konas lin kaj diris, ke la viro estas Granda Sinjoro Ŭatoo el Kamucuke (nuna Gunma). Jen tial la ĉiu nomis lin Avolokiteŝvaro Ŭatoo.

Post bonziĝo li vizitis Jokaŭa en la monto Hiei kaj fariĝis disĉiplo de la ĉefbonzo Kakuĉoo. Kvin jarojn li ekzercis sin kaj poste migris al la lando Tosa (nuna Kooĉi). Neniu scias kion la viro faris tie.

Mirinda estis la afero. Eble li estis vera Avalokiteŝvaro. Plej eminentas, ke tiel li bonziĝis. Jen tiel oni rakontis al ni.

(fino)

\*en la provinco XXX de Ŝinano (nuna Nagano) estis varma fonto XXX: Laŭ alia teksto en la provinco Cukuma estis varma fonto Cukuma, kiu estas en nuna gubernio Ŝiga.

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 2月15日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
2月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☔️ 3
2階B 3月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。春の季語で俳句	☀️ 3
3月14日(土)~	新型コロナウイルス感染対策で5月6日まで公民館休館。	☔️ 0
5月16日(土)10時	"Averto pri murdo"(Julian Modest)の輪読は 第1章4ページ5行目 Bojan sidiĝis malrapide から。	🏆 ?

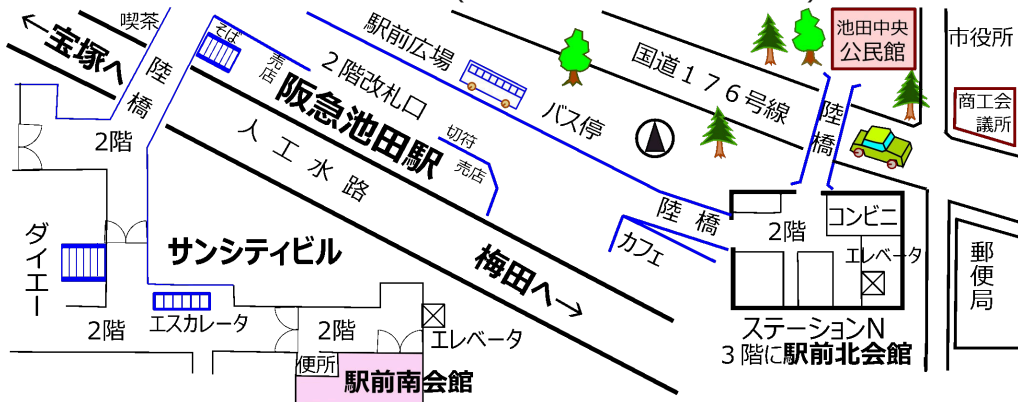
**例会予定** 2020年 3月7日B、~~14日、21日、(28)~~4月4日、~~11日、18日、(25)~~、  
5月2日B【5月6日まで休館】、(9)、16日、23日、(30)  
6月6日B、(13KEK)、20日、27日、7月(4)、11日、18日、25日、  
8月(1)、8日、15日、22日、(29)、9月5日、12日、19日、26日



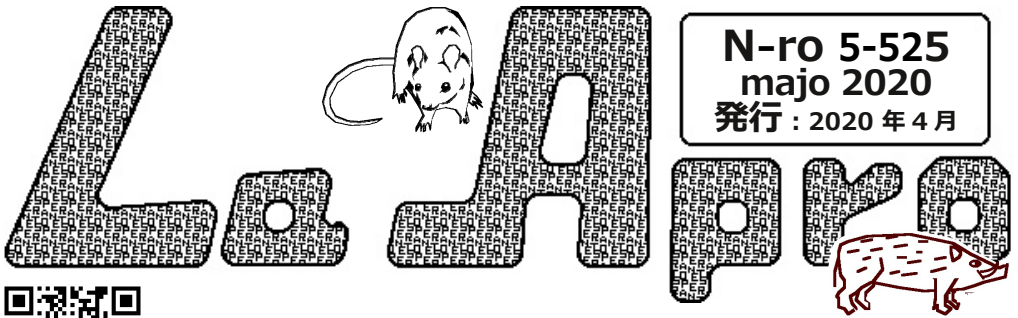
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。\*( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年 九州大会はとりあえず5月は中止。関西大会は11月に延期  
9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋、ウイングあいち)  
11月(予定) 第21回中国・四国エスペラント大会(徳島市)  
11月14日15日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
2021年 7月17日~24日(土~土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)~20日(月・祝) 第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)  
第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)







N-ro 5-525  
majo 2020  
発行：2020年4月



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 関西エスペラント大会は 11 月に延期

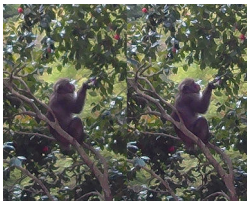
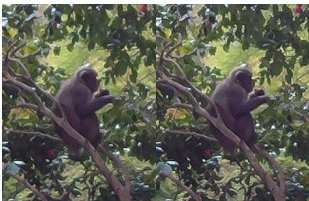
新型コロナ肺炎禍が 6 月には収束するという見込みが立たないため、今年の関西エスペラント大会は下記のように延期することになりました。

**第 68 回関西エスペラント大会**  
**期日：11 月 14 日 15 日(土日)**  
**会場：高槻現代劇場 (市民会館)**

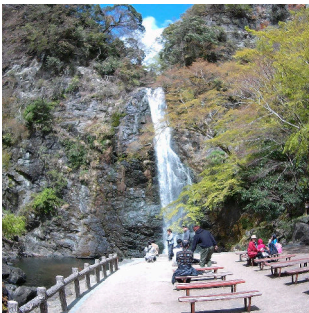
詳細や変更点は後報をおまちください。次の参加費割引も 9 月末まで 4 千円に延期です。

◎第 105 回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は 2022 年へ延期になりました。  
支払済参加費は：①UK2022 参加費へ充当、②来年の UK2021 参加費へ振替、③UEA へ寄付等選択。

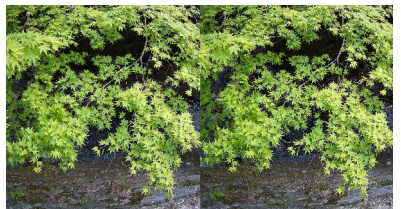
**Ĉu vi konas stereogramon?(184) SIMATANI Takesi**  
**Akvofalo Minoo senhoma 人がいない箕面の滝**



Simioj manĝis florojn sur altaj branĉoj de kamelio 樹の高い樹の枝先で猿が花を食べていました



**Branĉoj de acero sur akvo**  
水面にかかる楓の枝



今は昔の物語 第 19 卷 11 話  
信濃の国の王藤観音  
出家せる語

(しなののくにのわとうかんのんしゅつけせること)

今は昔、信乃国□□の郡(こおり)に、□□の湯と云ふ所有り。諸(もろもろ)の人、「薬湯也」とて、来て、浴(あむ)る所の湯也。

而る間、其の里に有る人、夢に見る様、人來(きたり)て告(つげ)て云く、「明日の午時(うまのとき)に観音来り給ひて、此の湯を浴み給ふべし。必ず、人結縁(けちえん)し来るべし」と。此の見る人、問(とい)て云く、「何様(いかよう)なる姿して来給はむと為るぞ」と。告ぐる人、答て云く、「年四十許(ばかり)なる男の、鬢(ひげ)黒きが、綾蘭笠(あやいがさ)を着て、節黒(ふしぐろ)なる大胡録(おおやなぐい)を負て、革(かわ)巻たる弓を持て、紺の水旱を着て、夏毛の行騰(むかはばき)白足袋を履(はき)て、黒造の太刀を帯て、葦毛(あしげ)の馬に乗て来る人有らば、其れを必ず観音と知り奉るべし」と告ぐるを聞くと思ふ程に、夢め覚(さめ)ぬ。

驚きて怪むで、夜明て後、普(あまね)く、其の里の人に、此の事を告げ廻(めぐら)し、語り聞かしむ。然れば、此れを聞き次て、此の湯に集る事無限(かぎりな)し。忽(たちまち)に湯を替へ、廻(めぐり)の庭を掃治し、注連(しりくへ)を引き、香花(こうげ)を備へて、多の人居並て待奉るに、日漸(ようや)く午時傾けり。未(ひつじ)に成る程に、彼の夢に見つる様なる男、來(きたり)たり。兒(かお)より始めて、夢に見えつる様に、露違(つめたが)ふ事無し。

諸の人に向て、「此(こ)は何事ぞ」と問へども、只礼拝のみして、此の事を語る人無し。一人の僧有て、手を摺(すり)て額に宛(あて)て、礼(おが)み居たる所に寄て、男、「此れは何事に寄りて、己れを見て、万(よろず)の

Antaŭ longa tempo n-ro 11 el vol. 19  
Ŭatoo fariĝis en Ŝinano  
bodisatvo Avalokiteŝvaro

tradukis: SIMATANI Takesi

Antaŭ longa tempo en la provinco XXX de Ŝinano(nuna Nagano) estis varma fonto XXX\*, al kiu oni vizitis por kuraci sian malsanon.

Iam en sonĝo de unu el loka popolo aperis homo, kiu anoncis jen tiel: "Morgaŭ tagmeze alvenos kaj sin banos Avalokiteŝvaro. Ĉiu ĉestu Lian alvenon kaj nepre ekstarigu interrilaton kun la Bodisatvo."

La sonĝanto demandis: "Kian eksterajon Li havos?" La anoncanto respondis: "Li aspektos kvardekjara viro kun nigra barbo. Li portos junkan ĉapelon kun silko, nigran grandan sagujon kaj ledkovritan arkon. Li portos pantalonon malhelbluan, gamboŝirmilojn el cerva felo, ŝtrumpetojn blankajn kaj nigran glavon. La rajdanton sur ruana ĉevalo adoru kiel Avalokiteŝvaron." Kun tiuj mesaĝoj vekigis la vilaĝano.

Kun miro pro la miraklo li rakontis pri la sonĝo al aliaj vilaĝanoj. Pri la afero oni transdiris de buŝo al buŝo kaj multaj kolektiĝis al la varma fonto. En kelka tempo oni ŝanĝis la akvon kaj purigis la ĉirkaŭaĵon. La fonton oni konsekri per sankta ŝnuro kaj garnis per floroj. Dum amaso atendadis pasis la tegmezo kaj finfine je la unua posttagmeze aperis la viro, pri kiu oni rakontis en la sonĝo. Pri la trajto aŭ ĉio alia nenio diferencis de la mesaĝoj.

"Kio okazis ĉi tie?" La viro demandis de la amaso. Neniu tamen respondis al li kaj ĉiuj nur adoris lin. Li venis proksimen al la bonzo, kiu riverencis al li kun interplektitaj manoj ĉe la

人は礼み給 (たまふ) ぞ」と、横なまりたる音を以て問ふに、僧、答て云く、「此の過ぬる夜、人の夢に、然々と見けるに依て也」と。

男、此れを聞て云く、「己 (おのれ) は一兩日が前 (さき) に、狩をして、馬より落て、左の方の脇 (かいな) を突き折たれば、其れを茄 (ゆでん) が為めに來たるを、此く礼み合給こそ、怪しと思ゆれ」など云て、とかく行 (あり) くを、万の人、後に立て、礼み喟 (の) のしる。

男、侘 (わび) て、「我が身は、然は、観音にこそ有 (あん) なれ。同く、我れ、法師と成なむ」と云て、其庭に弓箭を棄て、兵仗を投て、忽に髻 (もどり) を切て、法師と成ぬ。此 (か) く出家するを見て、万の人、貴び悲む事無限 (かぎりな) し。

而る間、自然 (おのずか) ら此の男の知たる人出来 (いできたり) て、見て云く、「彼は上野 (かむつけ) の国に有る王藤 (わとう) 大主 (おおぬし) にこそ有 (あん) めれ」と云ければ、万の人、此れを聞て、名を王藤観音とぞ付たりける。

出家して後、比叡の山の横川 (よかわ) に登て、覚朝僧都 (かくちょうそうず) と云ふ人の弟子に成て有けるが、五年許 (ばかり) 横川に有て、其の後は土佐の国にぞ行にける。其の後、其の有様を伝へ聞たる人無し。

此れ希有の事也。実の観音の御 (おわし) けるにや。此く出家する、仏の極て貴き也となむ、語り伝へたるとや。

(おわり)

※□□の郡に、□□の湯: 他の資料によると「筑摩の郡に、筑摩の湯」。

kapo. “Kial oni amasiĝas ĉi tie kaj kial ĉiuj klinas la kapon al mi?” Al lia demando kun provinca akcento klarigis la bonzo: “Hieraŭ nokte oni sonĝis tiel kaj tiel.”

Aŭdinte tion la viro diris: “Mi venis ĉi tien por kuraci min, ĉar antaŭ tri tagoj en ĉasado mi falis de ĉevalo kaj rompis maldekstran brakon. Via riverenco surprizis min.” La amaso temen postsekvis kaj riverencis al li.

Nenio helpis lin: “Se tiel, mi mem devas esti la bodisatvo Avalokiteŝvaro. Jen tial mi devas forlasi sekularan mondon.” Surloke la viro forĵetis armilojn kaj glavon. Kaj li detondis hartufon kaj fariĝis bonzo. Tio doni emocijon al la popolo kaj ĉiu senfine riverencis al li.

Dume aperis homo, kiu konas lin kaj diris, ke la viro estas Granda Sinjoro Ŭatoo el Kamucuke (nuna Gunma). Jen tial la ĉiu nomis lin Avolokiteŝvaro Ŭatoo.

Post bonziĝo li vizitis Jokaŭa en la monto Hiei kaj fariĝis disĉiplo de la ĉefbonzo Kakuĉoo. Kvin jarojn li ekzercis sin kaj poste migris al la lando Tosa (nuna Kooĉi). Neniu scias kion la viro faris tie.

Mirinda estis la afero. Eble li estis vera Avalokiteŝvaro. Plej eminentas, ke tiel li bonziĝis. Jen tiel oni rakontis al ni.

(fino)

\*en la provinco XXX de Ŝinano (nuna Nagano) estis varma fonto XXX: Laŭ alia teksto en la provinco Cukuma estis varma fonto Cukuma, kiu estas en nuna gubernio Ŝiga.

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 2月15日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
2月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☔️ 3
2階B 3月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。春の季語で俳句	☀️ 3
3月14日(土)~	新型コロナウイルス感染対策で5月6日まで公民館休館。	☔️ 0
5月16日(土)10時	"Averto pri murdo"(Julian Modest)の輪読は 第1章4ページ5行目 Bojan sidiĝis malrapide から。	🏆 ?

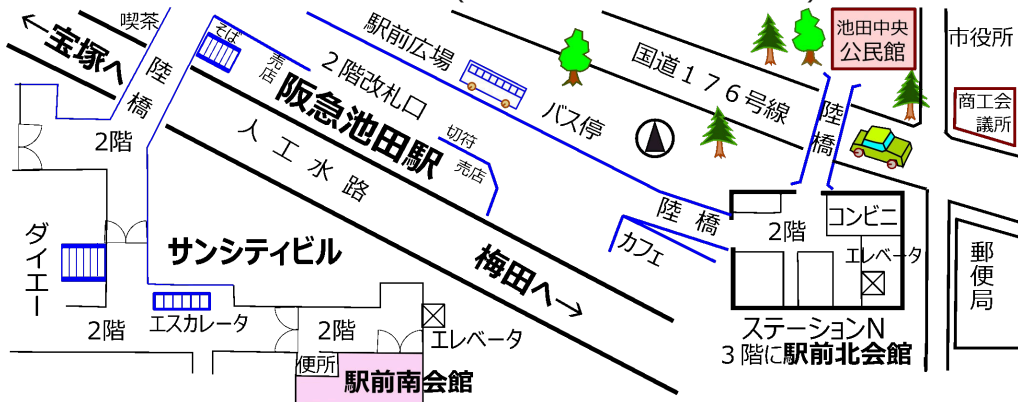
**例会予定** 2020年 3月7日B、~~14日、21日、(28)~~4月4日、~~11日、18日、(25)~~、  
5月2日B【5月6日まで休館】、(9)、16日、23日、(30)  
6月6日B、(13KEK)、20日、27日、7月(4)、11日、18日、25日、  
8月(1)、8日、15日、22日、(29)、9月5日、12日、19日、26日



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年 九州大会はとりあえず5月は中止。関西大会は11月に延期  
9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋、ウイングあいち)  
11月(予定) 第21回中国・四国エスペラント大会(徳島市)  
11月14日15日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
2021年 7月17日~24日(土~土) 第106回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)~20日(月・祝) 第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)  
第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)





# La Apro

N-ro 6-526  
junio 2020  
発行：2020年5月



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 例会は6月再開へ

新型コロナ症候群予防のための公民館閉館は5月末までの見込みです。

**6月6日(土)10時~12時中央公民館2階Bで輪読を再開します。**

- ◎第68回関西エスペラント大会は11月14日15日(土日)に延期。高槻現代劇場で。
- ◎今年夏の世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は2022年へ延期になりました。2021年夏の世界大会は北アイルランド・ベルファストで開催されます。

## Ĉu vi konas stereogramon?(185)

SIMATANI Takesi

### La Sanktejo de Tondro en Hata 畑天満宮

Malaperu for la epidemio! コロナ退散



稲荷の前の狐  
vulpoj antaŭ dio



マスクをした狛犬  
ŝtonhundo maskita

今は昔の物語 第 10 巻 19 話  
不信蘇規、破鏡与妻遠行語  
(ふしんそき、かがみをわりめにあたへて  
とほくにゆきけること)

Antaŭ longa tempo n-ro 19 el vol. 10  
Duonspegulon Su Gui donis  
al sia edzino antaŭ vojaĝo  
tradukis: SIMATANI Takesi

今は昔、震旦の□代に蘇規と云ふ人有りけり。此の人、国王の使として遥かに遠き洲（くに）へ行きけるに、蘇規、妻（め）に語りて云はく、「我れ、国王の使として遠き洲へ行く。汝と相見ずして久しくあるべし。然れば、我れ、他の女に娶ぐべからず、汝、亦、他の男に近付くべからず。此れに依りて、一つの鏡を二つに破りて、半（なか）らは汝に預けむ、半は我れ持て行かむ。若し、我れ、他の女に娶がば、我が半の鏡必ず飛び来りて、汝が鏡に合ふべし。亦、若し、汝が、他の男に娶がば、亦、汝が持たる半の鏡飛び来りて我が半の鏡に合ふべし」と契るに、妻喜びて半の鏡を得て箱の内に納めて置きつ。亦、蘇規も此の半の鏡を取りて、身を放つ事無くして、家を出で、彼の洲へ行きぬ。

其の後、程を経て、妻、家に有りて他の男に娶ぎにけり。蘇規、其の事を知らずして外（ほか）の洲に有る間、妻の半の鏡、忽（たちまち）に飛び来りて蘇規が半の鏡に合ふ事、約の如し。然れば、蘇規、我が妻忽に約を誤（あざむ）きて他の男に娶ぎにけりと云ふ事を知りて、契を違へたる事を恨みけり。

然れば、実（まこと）の心を至す時には心なき物ぞら如此（かくのごと）くぞ有りけるとなむ語り伝へたることや。

(おわり)

Antaŭ longa tempo en Ĉinio dum la jaroj de XX vivis la homo nomata Su Gui. Antaŭ ol vojaĝi al fora lando kun misio de reĝo li diris al sia edzino. "Kun misio de la reĝo mi vojaĝos al fora lando. Longe ni ne vidos nin. Mi tamen ne edziĝos al alia virino. Nek vi edziniĝu al alia viro. Pro tio mi duonigas spegulon kaj donas al vi duonon. Kun alia duono mi forvojaĝos. Se mi edziĝus al alia virino, mia duonspegulo alflugu al vi por fariĝi plena spegulo. Se vi edziniĝus al alia viro, via duono flugu al mi kaj estu plena spegulo." Al lia ĵuro la edzino ĝojis kaj en keston enmetis sian duonspegulon. Su Gui kunprenis la alian duonspegulon kaj forvojaĝis al la fora lando.

La edzino restis hejme kaj iom post lia forvojaĝo edziniĝis al alia viro. En fora lando Su Gui sciis nenion pri tio. Ŝia duono tamen tuj flugis al lia duono kaj unuiĝis, kiel distinite de lia ĵuro. Tiel Su Gui, la edzo, eksciis, ke la edzino sekrete edziniĝis al alia viro. Li koleris pro ŝia perfido.

Pro serioza ĵuro eĉ senkora objekto plenumas la promeson. Jen tiel oni rakontis al ni.

(fino)

# **Bruna Flakono** (茶色の小瓶 Little Brown Jug)

Joseph Winner(1837- 1918)tradukis Simatani Takesi

*vivece*

Kun ed - zin' vi - vas mi en ka - ba - no el a - bi'  
Pro vis - ki' i - ris for la a - mi - koj for del' kor'

Por ŝi ĝin', por mi rum' Ni fe - li - ças sen mon - dum'  
Pro vis - ki' ves - tas mi min çî - fo - ne en fe - ri'

Ha ha ha! A - mas mi vin, fla - ko - non da vis - ki';  
Ha ha ha! A - mas mi vin, fla - ko - non da vis - ki';

Ha ha ha! A - mas mi vin, fla - ko - non da vis - ki'!  
Ha ha ha! A - mas mi vin, fla - ko - non da vis - ki'!

## **Little Brown Jug**

Joseph Winner(1837- 1918)

1) My wife and I lived all alone  
In a little log hut we called our own;  
She loved gin, and I loved rum,  
I tell you what, we'd lots of fun.

Chorus: Ha, ha, ha, you and me,  
"Little brown jug" don't I love thee;  
Ha, ha ha, you and me,  
"Little brown jug" don't I love thee.

2) 'Tis you who makes my friends my foes,  
'Tis you who makes me wear old clothes;  
Here you are, so near my nose,  
So tip her up, and down she goes.

Chorus: Ha, ha, ha, you and me,  
"Little brown jug" don't I love thee;  
Ha, ha ha, you and me,  
"Little brown jug" don't I love thee.

## **Bruna Flakono**

tradukis SIMATANI Takesi

1) Kun edzin' vivas mi  
en kabano el abi'.  
Por ŝi ĝin', por mi rum';  
Ni felicias sen mondum'.

(Koruso) Ha ha ha! Amas mi  
vin, flakonon da viski'.  
Ha ha ha! Amas mi  
vin, flakonon da viski'!

2) Pro viski' iris for  
la amikoj de la kor'.  
Pro viski' vivas mi  
kun cifono en ferri'.

(Koruso) Ha ha ha! Amas mi  
vin, flakonon da viski'.  
Ha ha ha! Amas mi  
vin, flakonon da viski'!

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 2月15日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
2月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☔️ 3
2階B 3月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。春の季語で俳句	☀️ 3
3月14日(土)~	新型コロナウイルス感染対策で5月末まで公民館休館。	☔️ 0
公民館2階B 6月6日(土)10時	"Averto pri murdo"(Julian Modest)の輪読は 第1章4ページ5行目 Bojan sidiĝis malrapide から。	🏆 ?

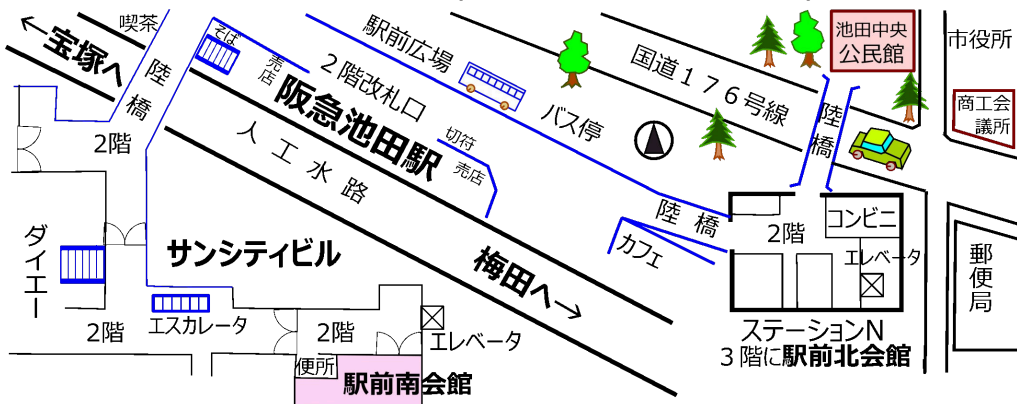
**例会予定** 2020年 3月7日B、~~14日、21日、(28)~~ 4月4日、11日、18日、(25)、  
5月2日B、~~(9)、16日、23日、(30)~~【5月末まで休館】  
6月6日B、~~(13)~~KEK、20日、27日、7月(4)、11日、18日、25日、  
8月(1)、8日、15日、22日、(29)、9月5日、12日、19日、26日



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年 九州大会はとりあえず5月は中止。関西大会は11月に延期  
9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋、ウイングあいち)  
11月(予定) 第21回中国・四国エスペラント大会(徳島市)  
11月14日15日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
2021年 7月17日~24日(土~土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)~20日(月・祝) 第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)  
第106回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)





# La Apro

N-ro 7-527  
julio 2020  
発行：2020年6月



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 例会再開しました

マスクをして、席を 2m 離して、ですが輪読しています。

**9月20日～22日(日月火)名古屋駅前で日本大会。**  
遠足や Bankedo は取りやめですが、盛り上げましょう。

- ◎第 68 回関西エスペラント大会は **11 月 14 日 15 日(土日)**に高槻現代劇場で。
- ◎今年夏の世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は 2022 年へ延期になりました。  
2021 年夏の世界大会は北アイルランド・ベルファストで開催されます。

## Ĉu vi konas stereogramon?(186) *SIMATANI Takesi* *La Akvofalo Minoo* 箕面の滝



Blua ĉielo kaj blanka akvofalo  
青い空 純白の滝

falintaj arboj  
←倒木



蝶めづる姫君の住み給ふかたはらに、按察使(あぜち)大納言の御むすめ、心にくくなべてならぬさまに、親たちかしづき給ふこと限りなし。

この姫君ののたまふこと、「人々の、花、蝶やとめづるこそ、はかなくあやしけれ。人は、まことあり、本地たづねたるこそ、心ばへをかしけれ。」とて、よろづの虫の、恐ろしげなるを取り集めて、「これが、成らむさまを見む。」とて、さまざまなる籠箱どもに入れさせ給ふ。

中にも、「烏毛虫(かはむし)の、心深きさましたるこそ心にくけれ。」とて、明け暮れは、耳はさみをして、手の裏に添へ臥せて、まぼり給ふ。

若き人々は、怖ぢ惑ひければ、男の童の、もの怖ぢせず、言ふかひなきを召し寄せて、箱の虫どもを取らせ、名を問ひ聞き、いま新しきには名をつけて、興じ給ふ。

「人はすべて、つくろふところあるはわろし。」とて、眉さらに抜き給はず、齒黒め、さらに、「うるさし、きたなし。」とて、つけ給はず、いと白らかに笑みつつ、この虫どもを、朝夕に愛し給ふ。

人々怖ぢわびて逃ぐれば、その御方は、いとあやしくなむののしりける。かく怖づる人をば、「けしからず、はうぞくなり。」とて、いと眉黒にてなむにらみ給ひけるに、いとど心地惑ひける。

親たちは、「いとあやしく、さまことにおはするこそ。」と思しけれど、「思し取りたることぞあらむや。あやしきことぞ。思ひて聞こゆることは、深く、さ、答(い)らへ給へば、いとぞかしこきや。」

**tradukis: SIMATANI Takesi**

En la kvartalo de princinoj amantaj papiliojn vivis princino de inspektoro — granda konsilisto. Ŝi estis bela senkompare kaj la gepatroj adoris ŝin.

La Princino opiniis: "Vante kaj senkaŭze oni amas florojn kaj papiliojn. Saĝa homo celas esencon kaj veran formon." Ŝi kolektis hororajn vermojn el ĉiu speco. "Mi volas vidi ilian disvolviĝon." Ŝi enmetigis la vermojn en diversajn korbokestojn.

Precipe vilajn raŭpojn ŝi opiniis "ĉarmaj kun interesaj formoj." Matene kaj vespere ŝi observadis ilin rampantajn en la mano kuspante longajn harojn malantaŭ la orelojn.

Junaj servistinoj terurigiĝis de la vermoj. La Princino elvokis sentimajn knabojn trivialajn kaj amuze informiĝis pri la nomoj de la vermoj elmetitaj el la kestoj aŭ mem nomis ilin.

"Ne utilas fliki la eksteraĵon." Kun tia penso ŝi nek forigis la brovojn, nek nigrigis la dentojn, "ĉar tio estas ĝene kaj malbele." Ŝi ridis kun blankaj dentoj kaj amuzis sin per la vermoj matene kaj vespere.

Kiam oni timigita forkuris, ŝi terure riproĉis ŝin. "Estu en ordo! Kiel sovaĝe vi kondukas!" Tiam vere tarura estis la Princino kun nigraj vilaj brovoj.

La gepatroj estis embarasitaj. "Stranga kaj eksterordinara oni vidus ŝin." Ili tamen ne povis persvadi ŝin. "Nia filino eble havas profundan rezonon.

と、これをもいと恥づかしと思したり。

「さはありとも、音聞きあやしや。人は、みめをかききことをこそ好むなれ。むくつけげなる烏毛虫を興ずなると、世の人の聞かむも、いとあやし。」と聞こえ給へば、

「苦しからず。よろづのことどもをたづねて、末を見ればこそ、事は故あれ。いと幼きことなり。烏毛虫の蝶とはなるなり。」

そのさまのなり出づるを、取り出でて見せ給へり。

「絹として人々の着るも、蚕のまだ羽根つかぬにし出だし、蝶になりぬれば、いとも袖に、あだになりぬるをや。」とのたまふに、言ひ返すべうもあらず、あさまし。

さすがに、親たちにもさし向かひ給はず、「鬼と女とは、人に見えぬぞよき。」と案じ給へり。母屋(もや)の簾(すだれ)を少し巻きあげて、几帳(きちょう)出で立てて、かく賢しく言ひ出だし給ふなりけり。

これを、若き人々聞きて、「いみじくさかしたまへど、いと心地こそ惑へ、この御遊びものは」  
「いかなる人、蝶めづる姫君につかまつらむ」とて、兵衛といふ人、

いかでわれ  
とかむかたなく  
いてしがな  
烏毛虫ながら 見るわざはせじ

と言へば、小大輔といふ人、笑ひて、

うらやまし  
花や蝶やと 言ふめれど  
烏毛虫くさき よをも見るかな

(つづく)

Strange ŝi estas klarvida kaj senprokraste refutas niajn vortojn.” Tio ĉagrenis ilin.

“Oni tamen klaĉos pri vi, ĉar ili ŝatas belan knabinon. Ni timas misfamon, ke vi amas malbelajn raŭpojn.” Ili admonis.

“Neglektu onidiron. Oni devas observi ĉion klare kaj vidi la disvolviĝon. Infanece oni timas raŭpon, el kiu elvenos papilio.” Tiel parolante la Princino montris papilion elvenantan el krizalido.

“Veston oni faras el silko de kokono, en kiu estas raŭpo. Kiam jam elvenis papilio, el la kokono oni ne faras eĉ manikon.” Al tiuj vortoj la gepatroj ne povis refuti.

La Princino tamen ne volis argumenti kontraŭ ili vizaĝo al vizaĝoj. “Demono kaj damo kaŝas sian vizaĝon,” ŝi pensis kaj logike parolis el sia sidejo malantaŭ duone levitaj kurtenoj kaj vualoj.

Junulinoj aŭdis tion kaj klaĉis. “Kvankam tre saĝa estas la Princino, ŝia gusto ĝenas nin. Aliaj homoj servas al princinojn amantajn papiliojn.” Inter ili versis la servistino Hjooe:

El la princino  
nun ludanta kun raŭpoj  
elkresku ĝermo:  
Elvenos papilio el pupo de la vermo.

Al tio ridis kaj reversis Kotaihu:

Feliĉe estus  
vivi kun papilio kaj bela floro.  
Dum ni vivas kun raŭpoj en ĉama fetoro

(daŭrigota)

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 2月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
2階B 3月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。春の季語で俳句	 3
3月14日(土)~	新型コロナウイルス感染対策で5月末まで公民館休館。	0
公民館2階B 6月6日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
公民館3階C 6月20日(土)10時	"Averto pri murdo" (Julian Modest)の輪読は 8ページ下から2行目 Sinapov bone komprenis から。	 ?

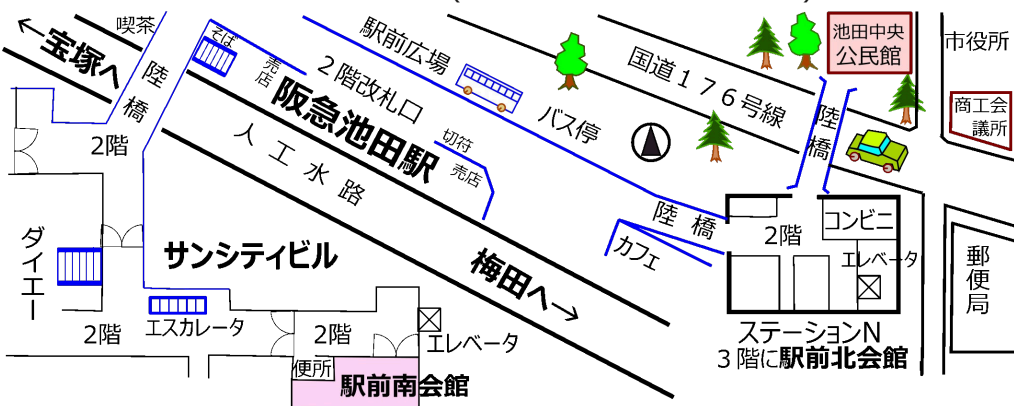
**例会予定** 2020年 3月7日B、~~14日、21日、(28)~~ 4月4日、11日、18日、(25)、  
5月2日B、(9)、~~16日、23日、(30)~~ **【5月末まで休館】**  
6月6日B、(~~13日、20日、27日、~~ 7月(4)、11日、18日、25日、  
8月(1)、8日、15日、22日、(29)、 9月5日、12日、19日



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年 九州大会は中止または年内延期。関西大会は11月に延期  
9月20日(日)~22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋、ウイングあいち)  
中止：第21回中国・四国エスペラント大会(徳島市)  
11月14日15日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
2021年 7月17日~24日(土~土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)~20日(月・祝) 第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、日時未定)  
第106回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)



# La Apro

N-ro 8-528  
aŭgusto 2020  
発行：2020年7月



La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA

池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 輪読“*Averto pri Murdo*”あらすじ

私立探偵 Sinapov に突然行方不明になった伯父を探してほしいと、唯一の身内である甥から依頼。無人の部屋は何者かに荒らされていた。聞き込みで老人の孤独な過去が浮かびあがる。一方怪しげな“Grafo”は手下に……

◎日本エスペラント大会 9月20日～22日(日月火)名古屋駅前。

遠足や Bankedo は取りやめ。宣伝チラシは封入せず、冊子に広告を募集。

◎第68回関西エスペラント大会 11月14日15日(土日)に高槻現代劇場で。

◎今年夏の世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は2022年へ延期になりました。2021年夏の世界大会は北アイルランド・ベルファストで開催されます。

## Ĉu vi konas stereogramon?(187)

SIMATANI Takesi

### USJ Malfermita ユニバーサルスタジオジャパン再開



入場制限。  
雨もあり、  
人影は  
少なめ。  
Pro limigo  
de eniro  
kaj pluvo  
malmultas  
homoj.



## 虫めづる姫君 (2)

など言ひて笑へば、「からしや、眉はしも、かは虫だちためり。さて、歯ぐきは、皮のむけたるにやあらむ」とて、左近といふ人、

「冬くれば  
衣たのもし 寒くとも  
かは虫多く 見ゆるあたりは

— 衣など着ずともあらなむかし」

など言ひあへるを、とがとがしき女聞きて、「若人たちは、何事言ひおはさうぞ。蝶めで給ふなる人、もはら、めでたうもおぼえず。けしからずこそおぼゆれ。さてまた、かは虫ならべ、蝶といふ人ありなむやは。ただ、それが蛻(もぬ)くるぞかし。そのほどを尋ねてし給ふぞかし。それこそ心深けれ。蝶は捕ふれば、手に霧つきて、いとむづかしきものぞかし。また、蝶は捕ふれば、瘡病(おこり)せさすなり。あなゆゆしとも、ゆゆし」と言ふに、いとど憎さ増りて、言ひあへり。

この虫ども捕ふる童(わらべ)には、をかしきもの、彼が欲しいるものを賜へば、さまざまに、恐ろしげなる虫どもを取り集めて奉る。

「かは虫は、毛などはをかしげなれど、おぼえねば、さうごうし。」とて、蠅(いぼり)、蝸牛(かたつぶり)などを取り集めて、歌ひののしらせて聞かせ給ひて、我も声をうちあげて、「かたつぶりの角の、争ふや、なぞ。」といふことを、うち誦(ず)んじ給ふ。

童の名は、例のやうなるは侘しとて、虫の名をなむつけ給ひたりける。けら男(を)、ひき麿(まろ)、稲蜻蛉(いなかたち)、いなご麿、雨彦[ヤスデ]などなむつけて、召し使ひ給ひける。

La 3a el “Rakontoj de CucumiĈuunagon”  
**Princino vermamanta**

tradukis: SIMATANI Takesi

Ili ridis. “Domaĝe similas al raŭpoj la brovoj de la Princino. Al senfeligitaj raŭpoj similas la blankaj dentoj!” Tiam versis Ukon:

Severan vintron  
ni ĝuos sen mizeraj tusoj kaj ternoj  
Ĉar kun ni vivas raŭpoj  
kaj densaharaj vermoj  
— Estos varme sen vesto!

Rigora servistino aŭdis la klaĉojn kaj riproĉis la junulinojn: “Kiel aroge vi parolas! Ami papilion ne estas saĝe, sed malprudente. Raŭpon kun papilio neniu komparas. La Princino studas, kiel elvenas papilio el raŭpo. Kiel diligenta ŝi estas! Kiam vi kaptas papilion, per skvameroj ĝi makulas vian manon kaj kaŭzas al vi febron. Terure, estas terure!” Ŝiaj argumentoj ne impresis ilin, sed nur plimultigis klaĉojn.

Al knaboj, kiuj kaptis vermojn, La Princino donis ion amuzan aŭ tion, kion ili deziras. Tial la knaboj alporis al ŝi hororajn vermojn.

“Kvankam kun interesaj haroj, raŭpoj estas nepopularaj kaj malgaja.” Tial mantojn kaj helikojn ŝi pretigis kaj ordonis al la knaboj kanti aŭ reciti poemojn. La Princino mem kantis laŭte: “Per antenoj batalas helikojj...”

Ŝi ne ŝatis banalan nomon kaj vokis la knabojn per nomo de vivaĵoj. Nome Grilo, Bufo, Libelo, Arkido, Diploporo kaj tiel plu.



かかること世に聞こえて、いとうたてあることを  
言ふ中に、ある上達部(かんだちめ)の御子(おほむ  
こ)、うち逸(はやり)て物怖ぢせず、愛敬(あいぎょう)  
づきたるあり。この姫君のことを聞きて、「さりと  
も、これには怖ぢなむ」とて、帯の端のいとをか  
しげなるに、蛇(くちなは)のかたをいみじく似せて、  
動くべきさまなどしつけて、鱗(いりこ)だちたる懸  
袋に入れて、結びつけたる文を見れば、

はうはうも  
君があたりに したがはむ  
長き心の 限りなき身は

とあるを、何心なく御前に持て参りて、「袋  
など、あくるだに怪しくおもたきかな」とてひきあ  
けたれば、蛇、首をもたげたり。人々、心を惑  
はして罵(ののし)るに、君はいとのどかにて、「南  
無阿弥陀仏、なもあみだぶつ」とて、「生前(さ  
うぜん)の親ならむ、な騒ぎぞ」とうちななかし、  
かるかるかやうに、なまめかしきうちしも「結縁(け  
ちえん)に思はむぞ、怪しき心なりや」とうちつづ  
やきて、近く引き寄せ給ふも、さすがに恐ろしく  
おぼえ給ひければ、立ちどころ居所蝶のごとく、  
せみ声に宣ふ声の、いみじうをかしければ、人  
々逃げ去りて笑ひ入れば、「しかじか」と聞こ  
ゆ。

「いと浅間敷(あさましく)、むくつけきことをも聞  
くわざかな。さる物のあるを見るみる、みな立ち  
ぬらむことこそ、怪しきや」とて、大殿、太刀をひ  
き提げてもて走りたり。よく見給へば、いみじうよ  
く似せて作り給へりければ、手に取り持ちて、「い  
みじう、物よくしける人かな」とて、「かしががり、  
ほめ給ふと聞きて、したるなめり。返り事をして、  
はやく遣り給ひてよ」とて、渡り給ひぬ。

(つづく)

**クリエイティブ・コモンズ許諾記号を付けました**  
**表示(CC-by):** 著者(翻訳者)の氏名、作品  
題名などを表示することを主な条件とし、改変【明示  
すること】はもちろん、営利目的での二次利用も許  
可される最も自由度の高いCC許諾記号です。

Disvastiĝis la famo kaj oni multe  
klaĉis pri la Princino. Foje *Umanosuke*,  
filo de iu kortegano aŭdis la famon. Li  
sentima kaj impetema amis petoli. “Eĉ  
ŝi tremos pro timo!” Li faris serpenton  
el peco de ŝnuro, kiu moviĝas kvazaŭ  
vivanta besto. Li metis ĝin en sakon  
kun desegno de skvamoj kaj al la sako  
aldonis folion kun kanto:

Rampante ĉiam  
Nun volas mi fariĝi via amiko  
Mi longe kiel korpo vin amos sen impliko

La sakon li alportis al la domo. Ĉar ĝi  
estis tro peza, oni malfermis la sakon  
kaj serpento elvenis! Dum la servistinoj  
ploras kaj kriegas, la Princino kviete  
recitis la formulon, “*Namo Amitabo*,  
namo Amitabo.” Cetero ŝi admonis al  
la servistinoj. “La besto povas esti via  
patro en antaŭa mondo.” Ŝi mem  
tamen tremis de timo iom aminde.  
“Jen ŝanco por rilatiĝi kun Budho. Ne bruu  
senpripense.” En raŭka voĉo ŝi diris kaj  
tiris al si la sakon kun genuoj tremantaj.  
La junaj servistoj forkuris ridante kaj  
raportis la aferon al la Konsilisto.

“Kia kruda konduto! Mi koleras pro la  
afero. Vi ja vidis embarason de la  
Princino kaj forkuris ne savante ŝin!” La  
Konsilisto alkuris al ŝi kun granda glavo.  
En la sako li tamen vidis nur imitaĵon.  
“Kvazaŭ vivanta serpento!” Prenante la  
ŝnuron li miris. “Oni petolis pri vi, ĉar vi  
saĝumas kaj superamas hororajn  
bestojn! Donu al li respondan kanton,  
por ke li foriru.” Li ordonis kaj foriris.

(daŭrigota)

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 6月20日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
6月27日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
7月11日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☔️ 3
7月18日(土)10時	"Averto pri murdo" (Julian Modest)の輪読は23ページ7行目 Post la vespermanĝo Janko kaj Lili sidigis antaŭ televidilo から。	🤖 ?

**例会予定** 2020年 7月(4)、11日、18日、25日、  
8月(1)、8日、15日、22日、(29)、9月5日、12日、19日  
後期申込み中：10月(3)、10日、(17)、24日、31日、11月7日、(14KEK)、21日、28日、  
12月(5)、12日(2階B)、19日(B)、26日。

**2021年**1月(2)、9日、16日、(23)、30日、2月(6)、13日、20日、27日、3月(6)、13日(B)、20日、27日。

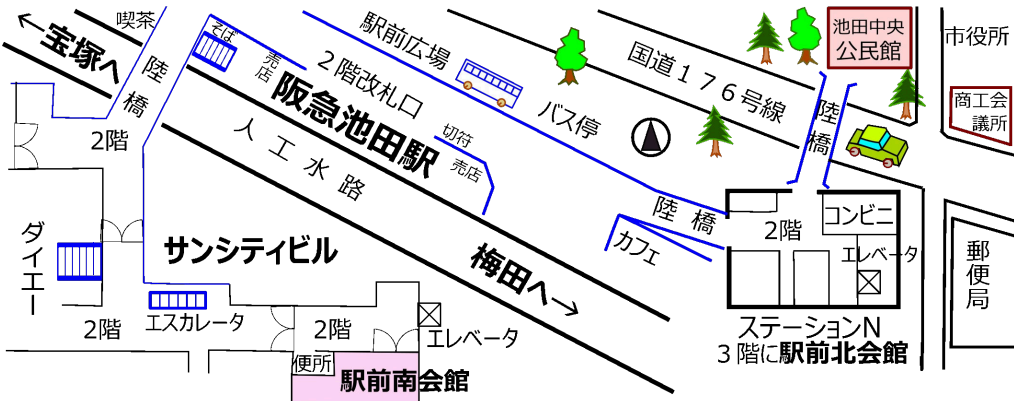


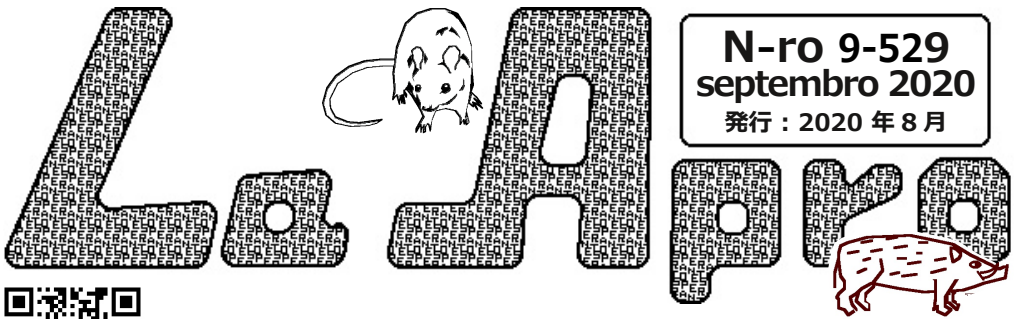
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年9月20日(日)～22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋 ウィンクあいち)  
10月24日(土)～25日(日) 第94回九州イスパント大会(グランティア太宰府)

10月31日(土)、11月1日(日)・2日(月)・3日(火・祝) 第31回 IKEDA 文化 DAY  
11月14日15日(土日) 第67回関西イスパント大会(高槻現代劇場)  
12月6日(日) ザメンホフ祭(南千里駅前、千里市民センター 8F 多目的ホール)  
2021年7月17日～24日(土～土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)～20日(月・祝) 第108回日本イスパント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・イスパント大会(韓国、日時未定)  
第106回世界イスパント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)





**N-ro 9-529**  
**septembro 2020**  
 発行：2020 年 8 月



*La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA*  
 池田エスペラント会 〒 563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 9 月 5 日(土)秋の季語で俳句の会

コロナ禍で夏の季語での俳句の会はできませんでしたが、秋の季語から再開します。

p.3 の季語を参考に挑戦してみてください。

◎日本エスペラント大会 9 月 20 日～22 日(日月火)名古屋駅前。

遠足や Bankedo は取りやめ。宣伝チラシは封入せず、冊子に広告を募集。

◎第 68 回関西エスペラント大会 11 月 14 日 15 日(土日)に高槻現代劇場で。

◎今年夏の世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)は 2022 年へ延期になりました。2021 年夏の世界大会は北アイルランド・ベルファストで開催されます。

## Ĉu vi konas stereogramon?(188)

*SIMATANI Takesi*

### *Monto Satuki kaj staja\* pendponto* 五月山と斜張橋



猪名川に  
 かかる  
 呉羽橋から  
 De la  
 ponto  
 Kureha  
 trans la  
 rivero  
 Ina.

\*stajo: 鋼索、  
 ケーブル。

猪名川沿いに高層住宅建設中。  
 Apud la rivero Ina oni  
 konstruas altan loĝdomon.





人〜、作りたると聞きて、「けしからぬわざしける人かな」と言ひ憎み、「返り事せずは、おぼつかなかりなむ」とて、いとこはく、すくよかなる紙に書き給ふ。仮名はまだ書かざりければ、片仮名(かたかな)に、

「契りあらば

よき極楽に ゆきあはむ

まつはれにくし 虫のすがたは

― 福地の園に」とある。

右馬の佐(むまのすけ)見給ひて、いと珍(めづ)らかに、様異なる文かな、と思ひて、「いかで見てし哉」と思ひて、中将と言ひ合せて、怪しき女どもの姿を作りて按察使の大納言の出で給へるほどにおはして、姫君の住み給ふ方の、北面の立部(たてじとみ)のもとにて見給へば、

男の童の異なることなき、草木どもにたたずみ歩(あり)きて、さて言ふやうは、「この木にすべて、いくらも歩(あり)くは、いとをかしきものかな」と、「これ御覧ぜよ」とて、簾(みす)を引き上げて、「いとおもしろき、かは虫こそ候(さぶら)へ」と言へば、さかしき声にて、「いと興あることかな。こち持て来(こ)」と宣へば、「取り別つべくもはべらず。たゞこゝもとにて御覧ぜよ」と言へば、荒(あら)らかに踏みて出づ。

簾を押し張りて枝を見はり給ふを見れば、かしらへ衣着あげて、髪もさがりば清げにはあれど、梳(けつ)り繕(は)ねばにや、しづげに見ゆるを、眉いと黒く、花々とあざやかに、涼げに見えたり。口つきも愛敬づきて、清げなれど、齒黒めつけねば、いと世づかず。「化粧(けさう)したらば、清げにはありぬべし。心憂くもある哉」とおぼゆ。

La servistinoj koleris pro trompo. "Kiel impertinenta!" Oni tamen konsilis la Princinon. "Etiketo tamen ordonas al vi respondi per letero." Ŝi prenis krudan kaj duran folion kaj skribis en strekaj kanaoj, ĉar ŝi ankoraŭ ne lernis rondajn.

"Pro la destino

ni iam nin revidos en paradizo

Serpenta longa korpo

ne decus sen surprizo

― Ĝis en ĉielo!"

Umanosuke ricevis la leteron kaj miris pro neordinara papero. Li ekvolis iel ŝtelrigardi ŝin. Li kaj Vicgeneralulo, lia amiko iris antaŭ la domon en virinaj vestoj. Dum la Sinjoro Konsilisto servis en la Kortego, ili staris antaŭ norda alo, kie sidas la Princino, kaj enrigardis tra krado.

Inter la arboj staris knabo banala kaj vulgara. Li miris. "Sur la arboj rampas multaj amindaj! Princino rigardu ilin!" Li levis bambuan kurtenon kaj kriis. "Mi trovis amuzajn raŭpojn!" Al li respondis voĉo inteligenta. "Interese! Alportu al mi la bestojn." Li replikis. "Ili estas tro multaj! Volu rigardi ilin ekstere!" La Princino elvenis kun nedelikataj paŝoj.

Ŝovinte kurtenon ŝi rigardis la branĉojn. La vesto glitiĝis al la kapo. Ĉe la kapo haroj estis belaj. Ili, eble ne kombitaj, perdis brilon malsupre. La nigraj brovoj estis klaraj kaj freŝaj. Kvankam la lipoj estis ĉarmaj kaj belaj, la dentoj nenigrigitaj malkonformas al la mondo. "Ŝminkita ŝi estus bela." Bedaŭris Umanosuke.



かくまでやつしたれど、みにくゝなどはあらず、いと様異に、鮮かに気高く、晴れやかなるさまぞあたらしき。練色(ねいろ)の綾の袷(うちき)ひと襲(かさね)、はたおりめの小袷一襲、白き袴を好みて着給へり。

この虫を、いとよく見むと思ひてさし出でて、「あな愛でたや。日にあぶらるゝが苦しければ、こなたざまに来るなりけり。これを一つも墜さで追ひおこせよ、童(わらは)べ」と宣へば、突き落とせば、はら〜と落つ。(つづく)

## 秋の季語 sezonaj vortoj de aŭtuno

文月 julio, 立秋 la unua tago de aŭtuno, 処暑 fino de varmeo, 八月/葉月/仲秋 aŭgusto, 白露/寒露 malvarma roso, 秋分 aŭtuna ekvinokso, 九月/長月 septembro, 霜降 prujno, 十月 oktobro, 稻刈時 rizikolto, 殘暑 varmo de malfrua somero, 新涼/爽やか/冷やか friskas aŭtuno, 霧 nebulo, 朝寒 matene malvarmas, 夜長 longas nokto, 月 luno, 三日月 lunarko, 満月/名月 plenluno 星月夜 luno kaj steloj, 秋の星 aŭtunaj steloj, 天の川 Ĉiela Rivero / Lakta Vojo / Galaksio, 流星 meteoro 彼岸 ekvinoksa budhoservo, 鰯雲 ciruskumuliso, 野分 furioza ventego, tajfuno 秋時雨 malvarmeta pluveto, 秋の雷 tondro, 稻妻 fulmo, 運動会 sporta festivalo, 夜学 vespera lernejo, 案山子 birdotimigilo, 脱穀 draŝado / dis-grajnigo, 夜なべ labori vespere, 新牛蒡 nova lapo, 盆踊 ulambana danco, 相撲 sumoo, 菊人形 krizantemumita figuro, 原爆忌(長崎) Tago de Atom-bombo, 敗戦日 ~ de Kapitulado, 震災忌 ~ de Tokia Tertremo, 敬老の日 ~ de Maljunuloj, 体育の日 ~ de Sporto, 文化の日 ~ de Kulturo, 赤い羽根 ruĝa plumo, 七夕 Stela Festo, 中元 jarmeza donaco, 秋祭 aŭtuna festo, 盂蘭盆会 ulambano, 茄子の馬 solana ĉevalo, 送火 fajro por reirantaj animoj, 墓参 viziti tombon, 燈籠流し flosigi lanternon, 燈籠 lanterno, 大文字 torĉegoj en formo de "Grando", 芋煮会 manĝi kolokasion,

**動物:** 鹿 cervo, 猪 apro, 渡り鳥 migrobirdo, 燕 歸る forflugas hirundoj, 鴟(もず)lanio, 鶉(ひよどり)

Indiferenta pri sia eksteraĵo, ŝi tamen ne estis malbela. Strange kaj moderne ŝi eitis vive dignoplena kaj gaja. Ŝi ŝatas vestojn el helflava kimono el kepro, subkimono kun desegno de ĉirpolokustoj kaj blanka hakamo.

Por bone observi la raŭpojn ŝi elpaŝis. "Admirinde! Por eviti sunradiojn ili venas ĉi-flanken. Knabo, ne faligu kaj pelu ilin al mi!" Li skuis branĉojn kaj faligis la bestojn. (daŭrigota)

hipsipeto, セキレイ motacilo, ウズロ kotumo, キツツキ pego, 雁渡る alflugas sovaĝanseroj, ボウ mugilo, ハゼ gobio, 秋鯖 skombro, 鰯 sardino, 秋刀魚 sairo, 鮭 salmo, つくつく法師 cukcuk-cikado, とんぼ libelo, あかんとんぼ ruĝa libelo, 鈴虫 homeogrilo, きりぎりす ĉirpolokusto, (ばった arkido/lokusto, 蝗(いなご) rizlokusto/rizarkido, 蝻 螂(かまきり) manto, コオロギ grilo, 蓑虫 saklarvo,

**植物:** 金木犀 oranĝflava osmanto, 芙蓉 ĉina hibisko, 桃 persiko, 梨 piro, 柿 persimono, 林檎 pomo, 葡萄 vinbero, 栗 kaŝtano, 石榴 granato, 無花果 figo, 胡桃 juglando, 酢橘 sudaĉo, 柚子 vinagrocitrono, 檸檬 limono, citrono, 紅葉 ruĝaj folioj (de acero), 黄葉 flavaj folioj, 団栗 glano, 銀杏(美)ginko, 鶏頭 celozio/amaranto, 秋桜(コスモス)kosmoso, 白粉花(オシロイバナ)niktago, へちま lufo, 鬼灯(ホオズキ) alkekengo, fizalido, 鳳仙花 balzamino/netuŝumino, サフラン safrano, 菊 krizantemo, 西瓜 akvomelono, 南瓜 kukurbo, 唐辛子 kapsiko, 稲穂 rizspiko, 玉蜀黍 maizo, 落花生 arakido, 秋の七草 sep aŭtunaj herboj, 萩 lespedezo, 薄(すすき) miskanto, 萱(かや) torejo, 荻 argenta miskanto, 数珠玉 kojksko, 葛(ウス) puerario, ホップ lupolo, 撫子 dianto, 猫(じゃらし) エノコログサ verda setario, 曼珠沙華/彼岸花 radia likorido, 桔梗 platikodono, 女郎花(おみなえし) patrinio, 竜胆(りんどう)genciano, 露草 komelino, 茸 fungo, 松茸 macutako, 椎茸 ŝitako, 朝顔 farbito, 苦瓜(ゴーヤー) momordiko, オクラ gombo, フヨウ・ムクゲ hibisko, 濁り酒 kruda sakeo, 新米 nova rizo, 枝豆 antaŭmatura sojfabo, とろろ汁 raspita ignamo, 新豆腐 nova tohuo

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 7月18日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
7月25日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
8月8日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
8月15日(土)10時	"Averto pri murdo" (Julian Modest)の輪読は37ページ1行目 La Nacia Teatro estis impona konstruaĵo から。	 ?

**例会予定** 2020年 8月(1)、8日、15日、22日、(29)、  
9月5日(秋の季語で俳句)、12日、19日、(26)。  
10月(3)、10日、(17)、24日、31日、11月7日、(14KEK)、21日、28日、  
12月(5)、12日(2階B)、19日B、26日。

**2021年**1月(2)、9日、16日、(23)、30日、2月(6)、13日、20日、27日、3月(6)、13日B、20日、27日

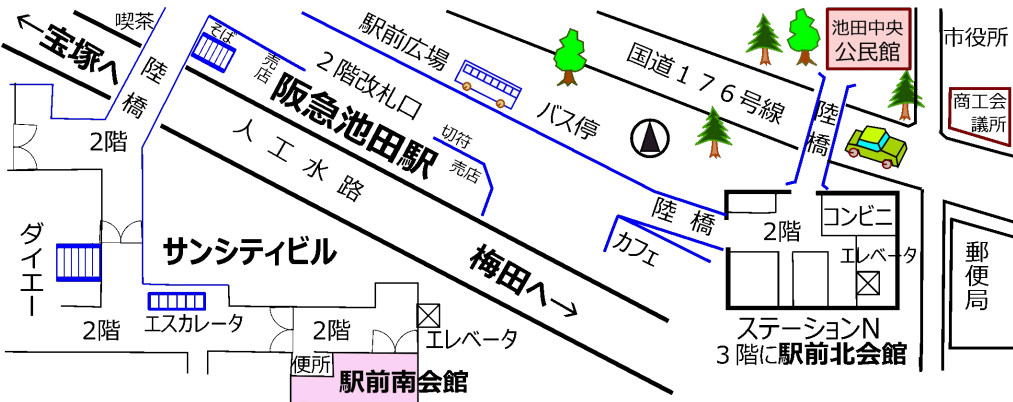


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年9月20日(日)～22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋、ウイングあいち)  
10月24日(土)～25日(日) 第94回九州イスパント大会(グランティア太宰府)

10月31日(土)、11月1日(日)・2日(月)・3日(火・祝) 第31回 IKEDA 文化 DAY  
11月14日15日(土日) 第67回関西イスパント大会(高槻現代劇場)  
12月6日(日) ザメンホフ祭(南千里駅前、千里市民センター8F多目的ホール)  
2021年7月17日～24日(土～土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)～20日(月・祝) 第108回日本イスパント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・イスパント大会(韓国、日時未定)  
第106回世界イスパント大会(カナダ・モントリオール、日時未定)



# La APRO

N-ro 10-530  
oktobro 2020  
発行：2020年9月



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## 2020年9月5日(土)の句会 (池田市立中央公民館 10時～)

○ 岩田好兼(俳号: Joŝi):  
Ŝvebas libeloj.  
Unu, du, tri... infanoj  
fingre nombrantaj.

Nepo manĝas  
bataton post batato.  
Vangoj pufiĝas.

Aŭtuna nokto —  
Da sakeo mi ĝuas  
pli ol dozo.

Aŭtuna pluvo —  
Aro da emeritoj  
kafo-babilas.

Aŭtuna nokto —  
Tiun aŭ ĉi tiun... Min  
logas libraro.

○ 島谷 剛(俳号: Takesi):  
Nubo post nuboj  
kaŝas kaj ellasas lunon —  
Venoj tajfuno

Sub plena luno  
estis pafo kaj falo  
— Nigra Arbaro  
劉 慈欣『三体Ⅱ 黑暗森林』より

Sub plena luno  
promenas juna paro —  
(griza)  
Muĝas la maro

○ 的場祐子(俳号: Yuko):  
Ruĝas ĉielo —  
Ĉirpas kanacikado  
tra monta valo  
Fruktojn de ginko  
mi kolektas ĉe monto  
de Nakayama



第 68 回関西エスペラント大会  
11月14日(土)～15日(日)  
池田狂言「末摘花 Kartamo」  
一部オンラインも。記念品『門』





白き扇の、墨黒に真名(まな)の手習ひしたるをさし出でて、「これに拾ひ入れよ」と宣へば、童へ取りいづる。みる君達(きんだち)も、「あさましう才なむあるわたり、こよなくもあるかな」と思ひて、この人を思ひて、いみじと君は見給ふ。

童の立てる、怪しと見て、「かの立部のもとに添ひて、清げなる男の、さすがに姿つき怪しげなるこそ、覗き立てれ」と言へば、この大輔(だいふ)の君といふ、「あないみじ。御前には、例の虫興じ給ふとて、顯(あら)はにやおはすらむ。告げ奉らむ」とて参れば、例の簾(すだれ)の外(と)におはして、かは虫ののりて、払ひ墜させ給ふ。いと恐ろしければ、近くは寄らで、

「入らせ給へ。端頭(はなづか)はなり」と聞こえさすれば、「これを制せむと思ひて言ふ」とおぼえて、「それ、さばれ、もの恥づかしからず」と宣へば、「あな心憂。そらごととおぼしめすか。その立部のつらに、いと恥づかしげなる人侍(はべ)るなるを、奥にて御覧ぜよ」と言へば、「けら男(を)、かしこに出で見て来(こ)」と宣へば、立ち走り往きて、「まことに侍るなりけり」と申せば、立ち走り、かは虫は袖に拾ひ入れて、走り入り給ひぬ。

丈(だけ)だちよき程に、髪も袿(うちぎ)斗(ばかり)にていと多かり。すそも削がねば。ふさやかならねど、ととのほりて中(ち)美しげなり。「かくまであらぬも世の常(つね)び、ことごま、けはひ、もてつけぬるは、くちをしうやはある。まことに、疎(そ)ましかるべきさまなれど、いと清げに気(き)高(たか)う、煩(わづ)はしきげぞ異なるべき。あなくちをし。などか、いとむくつけき心なるらむ。かばかりなるさまを」とおぼす。

Ŝi elprenis blankan ventumilon kun kaligrafajo de ĉinaj literoj. "Kolektu ilin ĉi tien." Ŝi ordonis kaj la knabo kolektis la raŭpojn. Miris la filoj de nobeloj. "Al la Konsilisto plej klera naskiĝis tia princino!" Umanosuke gapis al ŝi.

Unu el la knaboj trovis ilin suspektindaj kaj avertis al servistino Daihu-no-Kimi. "Antaŭ la krado enrigardas nobeloj kun virinaj vestoj." Ŝi timis. "Kia honto! Senkaŝa estus la Princino entuziasma al vermoj! Admoni mi devas." Alkurinte ŝi tamen ne povis proksimiĝi, ĉar oni brue faligis raŭpojn timigajn. La servistino kriis de fore.

"En ĉambron! Senkaŝa vi estas!" La Princino vidis ŝin trozorgema. "Ŝi volas ĉesigi kaptadon." Kaj replikis la Princino. "Estu trankvila. Nenio ĝenas min." "Ve, vi ne kredas min! Ĉe la krado rigardas vin nobeloj. Volu observi la bestojn en la ĉambro!" "Kerao, iru kaj vidu!" Ordonis la Princino kaj elkuris la knabo. "Vere staras nobeloj!" Tiam ŝi ekstaris kaj kuris en sian ĉambron enmetinte raŭpojn en la manikojn.

La staturado estas modera kaj la haroj estas multaj kaj longaj ĝis la fino de la kimono. La haroj estas sufiĉe belaj, kvankam tro pufaj sen kombado. "Eĉ princinoj multe malpli belaj ol ŝi furoras kun tualetaj kaj konvena etiketo. Vere bedaŭrinde estas, ke tiel malbonan guston havas ŝi, kiu estas la plej bela kaj dignoplena."



右馬の佐、「たゞ歸らむはいとさう〜し。見  
けりとだに知らせむ」とて、畳紙に、草の汁し  
て、

かは虫の  
毛ぶかきさまを 見つるより  
とりもちてのみ まもるべき哉

とて、扇して打ちたゞき給へば、童(わらべ)出  
で来たり。「これ、奉れ」とて取らすれば、大  
輔の君といふ人、「このかしこに立ち給へる人  
の、御前に奉れとて」と言へば、取りて、「あ  
ないみじ。右馬の佐のしわざにこそあめれ。心  
憂げなる虫をしも興じ給へる御顔を見たてまつ  
らむよ」とて、さま〜聞こゆれば、言ひ給ふ  
ことは、

「思ひとけば、ものなむ恥づかしからぬ。人は  
夢幻(まぼろし)のやうなる世に、誰かとまりて、悪  
しきことをも見、善きをも見思ふべき」と宣へば、  
いふかひなくて、若き人〜、おのがじし心憂  
がりあへり。

この人〜、「返り事やはある」とて、しば  
し立ち給へれど、童をもみな呼び入れて、「心  
憂し」と言ひあへり。ある人〜は心づきたる  
もあるべし、「さすがに、いとほし」とて、

人に似ぬ  
心のうちは かは虫の  
名をとひてこそ 言はまほしけれ

右馬の佐、  
かは虫に  
まぎるるまゆの 毛の末に  
あたるばかりの 人はなきかな

と言ひて、笑ひて歸りぬめり。

二の巻にあるべし。  
(つづかない)

“Ne elegante estus, foriri sen saluto.  
Mi skribu, ke mi vidis ŝin.” Umanosuke  
skribis sur poŝpaperon per herba suko.

“Vin sopiras mi  
vidinte vin kun vermo, vila rampanto  
Virgulinon per gluo kaptu mi adoranto”

Li frapis per ventumilo kaj elvenis  
knabo. “Al la Princino.” Li donis la leteron  
kaj la knabo ĝin transdonis al Daihu-no-  
Kimi. “De la sinjoro antaŭ la krado al la  
Princino.” Ŝi legis la poemon kaj  
komprenis. “Ha, ĝin versis Umanosuke.  
Li ja vidis la Princinon amuzanta per  
hororaj vermoj!” Kankam tiel kaj ĉi tiel ŝi  
admonis, la Princino diris.

“Mi komprenas, ke ne gravas  
reputacio. En efemera mondo oni  
ricevas kaj laŭdojn kaj riproĉojn dum  
mallonga vivo.” Neniŭ povos persvadi ŝin  
kaj junaj servistinoj bedaŭris tion.

La nobeloj atendis respondon. Oni  
tamen revokis eĉ la knabojn kaj  
ĉagreniĝis pro la afero. Iuj el ili rimarkis  
neceson respondi. “Ni tamen skribu al  
ili.” Oni respondis anstataŭ la Princino.

Ne respondu mi,  
Dum via nomo mankas, kiel nekonata raŭpo  
Kiam vi anoncos vin, mi salutos al frapo

Replikis Umanosuke:  
Kvazaŭ du raŭpoj  
Vilas viaj du brovoj Al via pordo  
Neniu ja kuraĝus viziti por akordo

Li ridis kaj foriris.

Vidu la duan parton.

(ne daŭrigota)

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 8月15日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀ 3
8月22日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀ 3
9月5日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀ 3
9月12日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子 "Averto pri murdo" (Julian Modest)の輪読19日は、 55ページ16行目 — Certe vi havas gravajn okupojn, — supozis Neli からです。	☀ 3

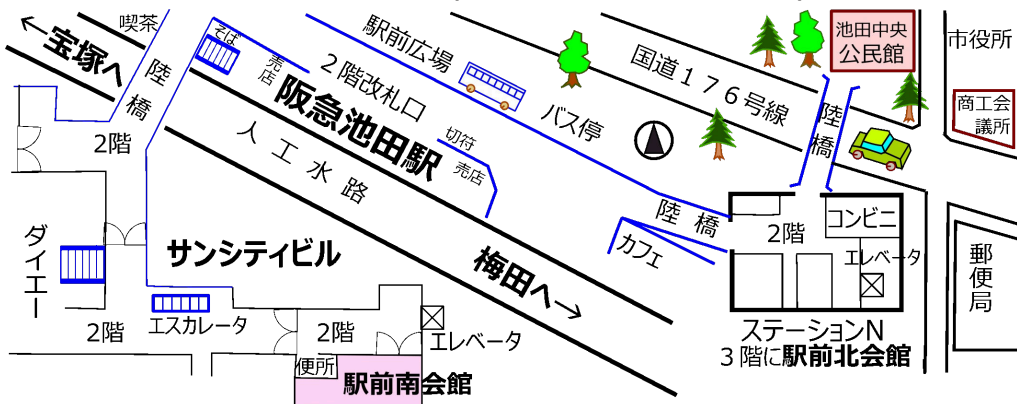
**例会予定** 2020年9月5日(秋の季語で俳句)、12日、19日、(26)、  
10月(3)、10日、(17)、24日、31日、  
11月7日、(14KEK)、21日、28日、12月(5)、12日(2階B)、19日B、26日。  
**2021年**1月(2)、9日、16日、(23)、30日、2月(6)、13日、20日、27日、  
3月(6)、13日B、20日、27日

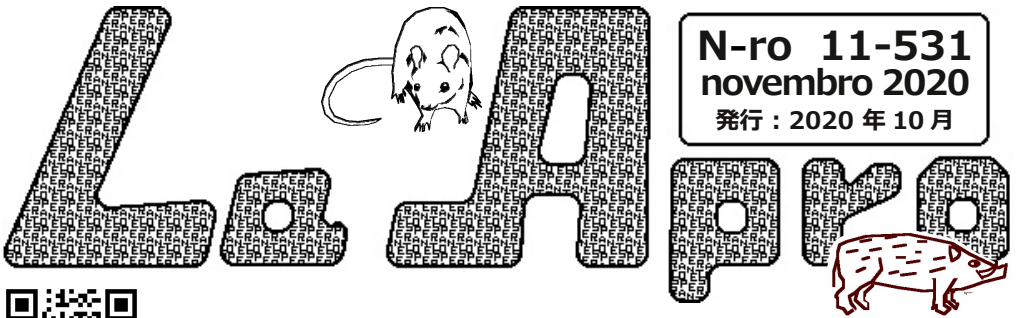


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年9月20日(日)～22日(火・祝) 第107回日本大会(名古屋)  
10月31日(土)11月1日(日)2日(月)3日(祝) 第31回 IKEDA 文化 DAY  
11月14日15日(土日) 第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
12月6日(日) ザメンホフ祭(南千里駅前、千里市民センター 8F 多目的ホール)  
**2021年**7月17日～24日(土～土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)～20日(月・祝) 第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
**2022年** 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、期日未定)  
第106回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、期日未定)





N-ro 11-531  
novembro 2020  
発行：2020年10月



La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

★第31回 IKEDA 文化 DAY

10月31日(土)～11月3日(祝)

池田商工会議所2階(池田駅前)でパネルを展示します。

★第67回関西エスペラント大会

11月14日(土)～15日(日)、高槻現代劇場

一部オンラインも。記念品は夏目漱石『門』(前期三部作の三作目)

池田エスペラント会は土曜日午後、新作狂言「未摘花 Kartamo」を演じます。



Noa komedio "Kartamo"

La Princino Kartamo, filino de bedaŭrata Princo Hitaĉi-no-Mija, amas eksmodan guĉinon, sepkordan kotoon. Ŝian veprovkovritan domon vizitis la amorema Princo Hikaru kondukita de amika Damo. Kion faris Kartamo malantaŭ bambua kurteno? Hikaru: Simatani Takesi, Damo: Iwata Yosikane.

昔風な中国伝来の古琴を愛する故常陸宮さまのお姫さま、未摘花。今は蓬が茂る屋敷へ、命婦の君の手引きで色好みの光源氏が訪れます。御簾の向こうの未摘花は？  
光源氏：島谷剛、命婦の君：岩田好兼。

★北摂ザメンホフ祭

(吹田、豊中、池田合同)

12月6日(日) 南千里駅前、千里市民センター 8F 多目的ホール

**新型コロナウイルス、アンケートまとめ**  
**Kronviruso en la mondo** 編 者 組

今年2月以降、世界中に広がり続けている、新型コロナウイルス感染症、日本の感染者は、2月までの感染者数、約4000人、死者は1500人を超え、累計で2020年10月31日現在、感染者数は約200,000人、死者は約10,000人、WHOは、このウイルスを「COVID-19」に分類し、世界的な大流行を宣言した。

1. 流行の経緯  
 発生は、中国湖北省武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。

2. 流行の現状  
 発生は、中国湖北省武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。

3. 流行の対策  
 発生は、中国湖北省武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。

4. 流行の今後の見込み  
 発生は、中国湖北省武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。

5. 流行の今後の見込み  
 発生は、中国湖北省武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。発生原因は不明だが、ウイルスは、2019年12月に武漢市で発生した。

## 花桜折る少将\* (1)

月にはかられて\*、夜ふかく起きにけるも、思ふらむところいとをしけれど、たち帰らんも遠きほどなれば、やう〜ゆくに、小家などに例おとなふものも聞こえず、くまなき月に、所〜の花の木どもも、ひとへにまがひぬべくかすみたり。いますこし、過ぎてみつところよりもおもしろく、過がたき心ちして、

そなたへと

ゆきもやられず 花桜

にほふこかげに 旅だたれつゝ

とうち誦(ずむ)じて、「はやく、ここにものいひし人あり」と思ひいでて、たちやすらふに、築地(ついち)のくづれより、白きものの、いたくしはぶきつついづめり。あはれげに荒れ、人けなき所なれば、こゝかしこのぞけど、とがむる人なし。このありつもの返(かへる)よびて、

「こゝに住み給し人は、いまだおはすや。『山人(やまびと)にも聞こえむといふ人あり』とのせよ」といへば、

「その御方は、こゝにもをはしまさず。なにかいふ所になむ住ませ給ふ」と聞えつれば、「あはれの事や。尼などにやなりたるらん」と、うしろめたくて、「かのみつとをにあはじや」など、ほゝゑみてのたまふほどに、妻戸をやはらかいはなつ音すなり。

おのこどもすごしやりて、透垣(すいがい)のつらなるむらすゝきのしげき下にかくれてみれば、

「少納言の君こそ。明けやしぬらん。いでてみ給へ」

といふ。よきほどなる童の、やうだひをかしげなる、いたう萎へすぎて、宿直(とのゑ)姿なる、蘇

La unua el "Rakontoj de CucumiĈuunagon"

## Sakuro deflorita



tradukis: SIMATANI Takesi

Trompita de hela luno la Vicgeneralo\* — Eble ŝi koleris pro hasta foriro. Por reiri al ŝi jam tro longe li formariĝis. Profunde dormis la kabanjoj apud lia vojo. Sub luno plenplena floris nebule arboj sakuraj tie kaj ĉi tie. Li trovis sakuran arbon pli belan ol tiu ĉe la amatino. Preteriri la lokon li ne emis.

Ne preterpaŝu

mi arbon de sakuro kun belaj floroj.  
ĉirkaŭas min aromo fascina kun koloroj.

Li deklamis kaj rememoris. "Iam ĉi tie mi havis amatinon." Dum li rigardis la florojn, elvenis tra breĉo de la muro blanka figuro kun forta tusado. La domo estis dezerta kaj neniu rimarkis, ke li gvatas. La maljunulino revenis kaj la viro demandis ŝin.

"Ĉu la damo ankoraŭ servas ĉi tie? Volu transdiri al ŝi, ke la Viro salutas al la Atendantino."

"La damo jam ne servas ĉi tie. Nun ŝi vivas en iu provinco." Ŝi respondis kaj la Viro supozis. "Eble ŝi fariĝis bonzino." Li bedaŭris, ke li estis indiferenta al ŝi. "Tiam min sekvis Micutoŭo." Dum li sopiris la pasintecon, estis bruoj, ke oni malfermas flankajn pordojn.

Li forigis la virojn sekvantajn kaj kaŝis sin ĉe plektobarilo kaj sub densejo de miskantoj.

"Damo Ŝoonagon, baldaŭ matenos! Elvenu kaj vidu!"

Elvenis floraĝa kanbino belaspekta. Ŝi portis eluzitan kimono, eble



芳(すおう)にやあらむ、つやゝかなる袒(あこめ)に、  
うちすきたる髪(かみ)のすそ、小袷(こうちき)にはえてな  
まめかし。月のあかきかたに、扇(あふぎ)をさしかくして、  
「月と花とを」と口(くち)ずさみて、花(はな)のかたへあゆみくる  
に、おどろかさまほしけれど、しばしみれば、おと  
なしき人の、

「すゑみつは、などかいままで起きぬぞ。弁君(べんくん)  
こそ、こゝなりつる。参(まゐ)り給(たま)へ」

といふは、ものへまうづるなるべし。ありつる童(わらわ)  
はとまるなるべし。

「わびしくこそおぼゆれ。さはれ、たゞ御供(ごこう)に参(まゐ)  
りて、近(ちか)からん所(ところ)にゐて、御社(みやしろ)へは参(まゐ)  
らじ」

などいへば、「ものぐるをしや」などいふ。みな  
したてて、五(ご)六(ろく)人(にん)ぞある。下(した)るゝほどもいとなや  
ましげに、これぞ主(しゅ)なるらむとみゆるを、よく  
みれば、衣(い)ぬぎかけたるやうだひ、さゝやかに、  
いみじう児(こ)めいたり。ものいひたるもらうたき  
ものの、ゆう〜しく聞(き)こゆ『うれしくもみつるか  
な』と思(おも)ふに、やう〜あくれば、帰(かへ)り給(たま)ぬ。

日(ひ)さしあがるほどに起き給(たま)て、よべの所(ところ)に文(ふ)  
み)書(か)き給(たま)ふ。

「いみじう深(ふか)う侍(侍)りつるも、ことわりなるべき御  
気(き)色(いろ)に、いで侍(侍)りぬるは、つらさもいかばかり」

など、青(あお)き薄(うす)様(やう)に、柳(やなぎ)につけて、

さらざらし

いにしへよりも 青柳(あおやぎ)の

いとゞぞけさは 思(おも)ひみだるゝ

noktveston. Purpure ruĝa glacea  
subkimono kaj bele kombita hararo  
kokete harmoniis al la vesto. Kun  
ventumilo al la luno ŝi venis al la  
floroj kun deklameto. "... lunon kaj  
florojn..." Saluti al ŝi per kanto li  
volus... Tiam matura voĉo diris.

"Kial Suŝemicu ankoraŭ dormas?  
Ben no Kimi estas ĉi tie. Alvenu haste!"

Eble oni vizitos sanktejon. La  
knabino devas resti hejme.

"Mizera mi estos! Ĉu mi povus  
akompani la Princinon ĝis apude kaj  
resti ekster la sanktejo?"

La peton de la knabino oni vidis  
'freneza'. Aliaj kvin aŭ ses preparis sin  
por vizito. La damo, kiu ĉagrene  
descendis ŝtupojn, devas esti la Princino.  
Kun duonŝovita kimono ŝi estis eta kaj  
infaneca. Ŝia parolo estis aminda kaj  
gracia. "Bone mi vidis ŝin!" Li ĝojis kaj  
eliris el la tereno ĉe la tagiĝo.

Kiam la suno alte leviĝis, li leviĝis el lito  
kaj skribis al la amarinto de la nokto.

"Dum profunde mi amas, vi ne  
estis bonhumora kaj mi devis foriri  
frue kun malĝojo."

Folion diafane bluan li nodis al  
branĉo de saliko.

Vi perdis amon,

Dum amo min pli taŭzas, kiel en vento

Folioj de saliko flirtas

sen firma fundamento

\*題名は少将だが、本文では中将。

\*平安時代の貴族は夜間に愛人を訪問し、  
夜明け前に退出するのが約束事だった。

\* Vicgeneralato: 中将。Laŭ japana  
titolo la nobelo estas 少将 (sub-  
generalato), sed en la teksto aktivas  
中将(vicgeneralato).

\* En la Epoko Heian nobeloj en Kioto  
vespere vizitis amatinon kaj antaŭ  
la aŭroro eliris el ŝia domo.

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 9月12日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀️ 3
9月19日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☀️ 3
10月10日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	☁️ 3
10月24日(土)10時	"Averto pri murdo" (Julian Modest)の輪読24日は、 64ページ11行目 - Kiam vi lastfoje vidis lin? からです。	🏆 ?

**例会予定** 2020年10月(3)、10日、(17)、24日、31日、  
11月7日、(14KEK)、21日、28日、  
12月(5)、12日(2階B)、19日B、26日。

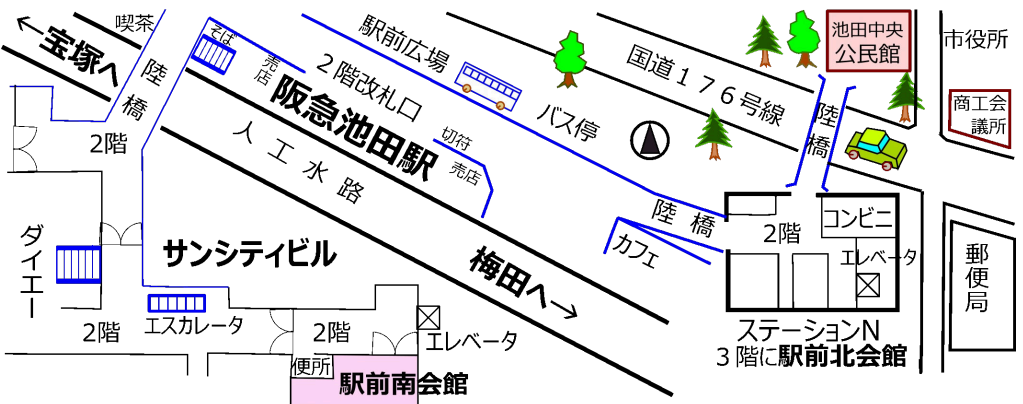
**2021年** 1月(2)、9日、16日、(23)、30日、 2月(6)、13日、20日、27日、  
3月(6)、13日B、20日、27日

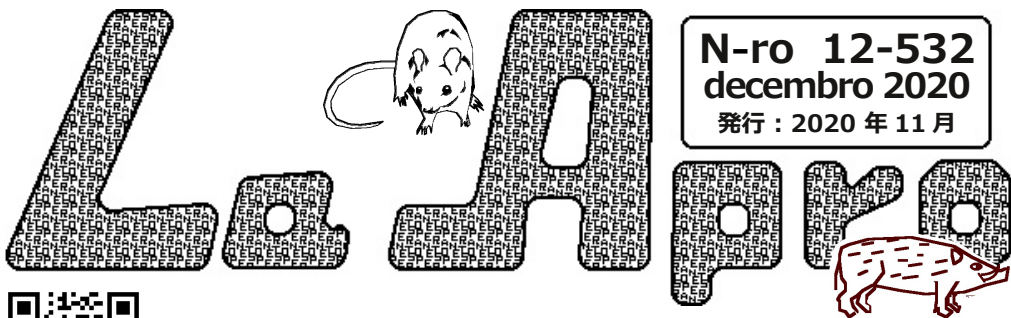


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年10月31日(土)～11月3日(祝)第31回 IKEDA文化DAY  
11月14日15日(土日)第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
12月6日(日) ザメンホフ祭(南千里駅前、千里市民センター8F多目的ホール)  
**2021年** 7月17日～24日(土～土) 第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)～20日(月・祝)第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
**2022年** 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、期日未定)  
第106回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、期日未定)





N-ro 12-532  
decembro 2020  
発行：2020年11月



La Apro, Organo de Esperanto-Rondo en IKEDA

La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA

池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

池田エスペラント会 Esperanto-Rondo en IKEDA

Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto, La Lingvo Internacia Esperanto

## ★北摂ザメンホフ祭

(吹田、豊中、池田合同)

12月6日(日) 南千里駅前、千里市民センター 8F 多目的ホール  
池田エスペラント会は、新作狂言「末摘花 Kartamo」を演じます。

## 冬の季語で俳句

12月12日(土)池田市立中央公民館 3階 10時～  
冬の季語は3ページを参考にしてください。

## 関西エスペラント大会で狂言「末摘花 Kartamo」

高槻現代劇場 11月14日、光源氏：島谷剛、大輔の命婦：岩田好兼。  
近江の森均さんが動画を YouTube にあげてくれました。

<https://www.youtube.com/watch?v=IIYmvt6ax-o> (17分)



御簾の陰の末摘花は…



高槻市役所

Noa komedio, "Kartamo" esperante: エスペラント狂言 末摘花

## 花桜折る少将 (2)

とてやり給へり。返事(かへりごと)めやすくみゆ。

かけざりし

かたにぞはいし 糸なれば

解くとみしまに またみだれつゝ

とあるをみ給ほどに、源(げん)中将、兵衛佐(ひょうゑさ)のすけ、小弓もたせておはしたり。

「よべはいづくにかくれ給へりしぞ。内裏(うち)に御遊びありて召ししかども、みつけたてまつらでこそ」  
とのたまへば、

「こゝにこそ侍(はべり)しか。あやしかりける事かな」

などの給(たまふ)。花の木どもの咲きみだれたる、いと多く散るをみて、

あかで散る

花みるをりは ひたみちに

とあれば、佐、

わが身にかつは よほりにしがな

との給。中将の君、「さらばかひなくや」とて、

散花(ちるはな)を

をしみとめても 君なくは

たれにかみせむ 宿の桜を

との給。たはぶれつゝもろともにいづ。「かのみつる所たづねばや」とおぼす。

夕方、殿にまうで給て、暮れゆくほどの空、いたうかすみこめて、花のいとをもしろく散りみだるゝ夕ばへを、御簾(みす)まきあげてながめいで給つる御かたち、いはむかたなく光りみちて、花のにほひも、むげにけをさるゝ心ちぞする。琵琶を黄鐘調(わうしきでう)にしらべて、いとどのやかに、をしく弾き給(たまふ)御手つきなど、かぎりなき女も、かくはえあらしとみゆ。このかたの人 ― 召しいでて、さま ― うち合はせつゝ遊び給ふ。

**Sakuro deflorita**tradukis: **SIMATANI Takesi**

La viro sendis la leteron kaj la virino respondis per sprita kanto.

Min algluiĝis

Flirtanta vi en vento kvazaŭ fadeno

Vi al alia flugas jam en mateno

Dum la Vicgeneralato legis la leteron, vizitis lin Vicgeneralato de Genĵi kaj Adjutanto de Palaca Gardo kun arko.

“Kie vi kaŝis vin ĉi-nokte? La Kortego alvokis vin al amuza salono. Vane ni serĉadis vin.” Ili plendis kaj la Vicgeneralato malkonfesis sian foreston. “Strange, mi estis hejme en la lasta nokto.”

La vizitantoj vidis falantajn florojn de Sakuro kaj versis la Vicgeneralato de Genĵi:

Senĉese falas

de Sakuro floroj. Vi absorbita...

Kaj la Adjutanto aldonis lastajn versojn:

Forgesas ĉion sole pro la damo morbida

La Vicgeneralato rezignis protesti kaj versis:

Haltigi florojn fali

Neniom min konsolus, sorĉo detena...

Ne estas amatino sub sakuro ĝardeno

Ŝercante ili kune iris eksteren. La Vicgeneralato decidis iam viziti la domon.

Vespere la Vicgeneralato vizitis sian patron. Ruĝis ĉielo kun nebuleto. Faladis floroj plezure. Suprenrulante bambukurtenon li vidis la ĝardenon. Lia trajto estis senlime brila kaj, mi opinias, multe superis aromon de floroj. Bivon ludis en A minora. Neniu damo povus ludi tiel serene kaj brave. Oni elvokis virtuzojn en ludado. Ili ludis diversajn muzikojn en akordo.







## 冬の季語 sezonaj vortoj de vintro

クリスマス kristo nasko、師走 jarfino、大晦日 silvestro、大寒 granda frosto、冬の朝 vintra mateno、短日 mallongas tago、霜夜 prujna / frosta nokto、寒波 frosto、●寒月 frosta luno、凧/木枯 /北風 frosta vento、霰 (あられ) grajlo; hajleto、曇 (みぞれ) neĝpluvo、霜 (しも) prujno、雪 neĝo、雪女 neĝulino、吹雪 neĝostormo、雪原 neĝkampo、枯野 morta kampo、冬眠 vintrodormi、枯葉 velkinta /mortinta /falinta folio、枯木 ~ a arbo、ボーナス kromsalajro、煤払 (すすはらい) ĝenarala purigo、第九 naŭa simfonio de Betoveno、忘年会 jarfina bankedo、晦日蕎麦 (みそかそば) jarfina fagopiraĵo、膝掛 genuŝirmilo、セーター ĵerzo、オーバー palto、襟巻 koltuko、手袋 gantoj、餅 moĉio; rizkuko、雪掻 forigi neĝon、ストーブ fajrujo; forno; stovo、スキー skii、スケート glitkuri; sketi、風邪 malvarmumo、日向ぼこ sunumo、年賀状 novjara salutkarto、お年玉 novjara donaco、獅子舞 leonmaska danco、羽子つき japana volanludo/plumpilko、初詣 unua vizito al sanktejo、七五三 festo por tri-、 kvin- kaj sepjaraj infanoj、豆撒 demono-ekzorco、鬼は外 For la demonoj!、節分 lasta tago de vintro、コマ turbo、咳 (せき) tuso

**動物** : 牡蛎 ostro、熊 urso、狸 niktireŭto、狼 lupo、鼬 mustelo、むささび flugsciuro、兎 leporo; kuniklo、鯨 /勇魚 baleno、鷹 akcipitro、鷹狩 falkoĉaso(falko はハヤブサ)、鴨 sovaĝa anaso、白鳥 cigno、鮪 tinuso、鰯 (ぶり) seriolo、鮫鰐 lofio、河豚 (ふぐ) tetrodono; balonfiŝo、鯉 (ひらめ) rombo; platfiŝo、海鼠 (なまこ) holoturio; markolbaso、

**植物** : 葉牡丹 ornama brasiko、白菜 ĉina/pekina brasiko、ブロッコリ brokolo、葱 tubfolia ajlo、大根 rafano、カブラ rapo、人参 karoto、山茶花 sazanko、蜜柑 mandarino; oranĝo、枇杷の花 floras eriobotrio、水仙 narciso、シクラメン ciklameno、龍の玉 (ジャルヒゲ=リュウヒゲの青い実) bero de ofiopogono

会場 日時	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "Averto pri murdo"(Julian Modest)	出席者
2020年公民館3階C 10月24日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
10月31日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
11月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛。	 2
11月21日(土)10時	"Averto pri murdo"(Julian Modest)の輪読は、77ページ 8行目 En la drinkejo, ĉe unu el la tabloj からです。	 ?

**例会予定** 2020年11月7日、(14KEK)、21日、28日、  
12月(5)、12日(2階B。冬の季語で俳句)、19日B、26日。  
2021年1月(2)、9日、16日、(23)、30日、2月(6)、13日総会、20日、27日、  
3月(6)、13日B、20日、27日



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。Bは2階会議室B。※( )は例会のない土曜日とその理由。



**行事予定** 2020年10月31日(土)～11月3日(祝)第31回IKEDA文化DAY  
11月14日15日(土日)第67回関西エスペラント大会(高槻現代劇場)  
12月6日(日)ザメンホフ祭(南千里駅前、千里市民センター8F多目的ホール)  
2021年7月17日～24日(土～土)第105回世界大会(北アイルランド・ベルファスト)  
9月18日(土)～20日(月・祝)第108回日本エスペラント大会(広島市、アステールプラザ)  
2022年 第10回アジア・オセアニア・エスペラント大会(韓国、期日未定)  
第106回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール、期日未定)

